

1994

# 講義要項

*SHIRAUME GAKUEN COLLEGE*



1994年度 白梅学園短期大学

目 次

一般教育科目 .....	1
外国語科目 .....	7
保健体育科目 .....	8
保育科専門教育科目 .....	9
心理学科専門教育科目 .....	23
教養科専門教育科目 .....	32
教養科教職科目 .....	53
教養科博物館科目 .....	55
専攻科保育専攻専門教育科目 .....	57
専攻科福祉専攻専門教育科目 .....	67

《人文系科目》

哲 学

田 中 未 来

副題—近代ヒューマンイズムの系譜—

- 1) 近代ヒューマンイズムの2つの源流
- 2) 近代の諸思想—社会主義・プラグマティズム・実存主義等とヒューマンイズム
- 3) 科学とヒューマンイズム
- 4) 教育・福祉とヒューマンイズム
- 5) 平和とヒューマンイズム
- 6) 現代社会に生きるわたくしたちと、ヒューマンイズムの理念

文 学

東 喜 望

将来に資するために、口承文芸をとりあげます。

初めに、口承文芸（昔話・伝説・神話など）を概観し、日本の代表的な話をとりあげながら、その話の淵源をたずねていきます。

大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考究していく予定です。

文 学

久保木 壽 子

古代の文学作品をできるだけ多く紹介しながら、その作品の特質を、時代・状況との係わりの中で明らかにしていきたい。

『古事記』から『源氏物語』まで、凡そ時代を追いながら神語りから物語へと散文作品の展開を見ることになる。

「文法」に縛られていた作品を、楽しいもの、意義あるものと感じられるような講義にしたい。

文 学

丸 尾 寿 郎

文学とはなにかと正面切って問われると、なかなか答えにくい。わかっているようで、定義となると困難だ。そこで、誰もが納得のゆくように、具体的に近代現代の小説を読んだり、紹介したりしながら講義をすすめようと思う。それは学生諸君と共同の、知ろう解ろうとする作業であるから、課題に<sup>法</sup>応えてももらうこともある。どんな課題か。それは始めてみれば、おのずとわかる。参考書など必要なものは、その都度<sup>つと</sup>指示する。

## 歴史学

高橋秀雄

奈良・平安期の大陸の文物制度の積極的な移入以来、日本は外国との接触によって変革する歴史を積み重ねてきた。とくに江戸時代の鎖国という特殊な政治形態から、明治維新の開国による近代国家としての歩みを確認する仕事は、現代の日本が21世紀に向けて進む道程を探ることにつながる。諸外国との関連を政治的にまた文化的に探求し、歴史学の持つ意義を考えてみることにしたい。

## 歴史学

渡辺新

今年度は日本近代史を中心に講義する。その過程で歴史的な考え方とはどういうことか、歴史学とはどういう学問かを考えてゆきたい。また、女性論、天皇制国家論、地域社会論など隣接科学との接点も探ってみたい。

## 歴史学

平賀明彦

明治維新以後の日本の近代を対象にしながら、具体的な歴史過程に沿って「近代化」とはそもそも何なのかを考えていきたい。その際、細かい歴史事実や年代などにこだわるのではなく、広い視野で歴史のダイナミックな流れを追うところを、そのような歴史に対する見方が、現代社会を理解するうえでどのような意味をもつかについて考えてみたい。資料、参考文献はそのつど紹介する。

## 美術

上野光子

日本を中心とした東洋美術。かってインド・中国・朝鮮の文化をリードし、日本文化の形成に大きくかかわってきた仏教美術を軸に、都市・建築・彫刻・工芸・庭園の代表的具体例にそって講義します。

その中で、歴史的、風土的背景をふまえながら、それぞれの国の美のとりえ方の違い、しいては日本人の美意識について考えます。スライド・ビデオ使用。見学も予定しています。本年度は、法隆寺が中心になります。

## 美術

山田磯夫

日本の美術は近世以前においては仏教美術を母胎に形成・発展してきた。授業では主に古代から近世に至る仏像彫刻をとりあげ、彫刻様式の流れと共に周辺の文化事象について概観する。スライド使用。

## 《社会系科目》

### 社会学

嶋根久子

社会学は、間口の広い学問で、ほとんどあらゆる社会現象をその対象にし、扱い方も抽象的なものから具体的なものまで様々である。それだけに初めて社会学に接する人は、はっきりとしたイメージをもちにくい。そこで当講義では人のなにげない仕種、無意識の行動、日常生活といったみじかな事柄を取り上げ、それらを社会的視点から考察してみる。

### 社会学

民秋言

人間は社会生活から切りはなされては生きていくことができない。「人間は社会的動物である」という前提にたつて、人間のつくる社会を解明するのが社会学である。すなわち、人間と人間との社会的交渉という角度から社会を観察し、そこから得られた諸現象をその対象とする。本講では、とくに家族に焦点を合わせ人間生活とのかかわりについて検討する。必要な文献や資料は、講義の中で紹介する。

### 経済学

内山哲朗

〈授業のねらい〉 変動の激しい現代経済の理解に必要とされる経済学の基本的知識および経済学的思考の方法を習得すること。  
〈授業内容〉 現代の日本経済をあらためて「豊かさを問い直す」という視点からとりあげ、「経済の豊かさ」を問い直す際の問題点を「生活の豊かさ」として検証することによって、《経済と生活》をつなぐ基本的な論理について講義を進めていく。必要な参考書等は適宜紹介する。

### 経済学

富永静枝

封建社会が崩壊し、資本主義社会が展開していく過程を、イギリスと日本を対比しながら考察し、ついで資本主義の経済の仕組みを理解するために、経済学の基礎理論について講義する。なお新聞やテレビのニュースなどで問題になっている生活とかかわりの深い労働、教育、高齢化社会などに関する経済問題も取り上げるが中心は経済理論におく。

### 法学（日本国憲法）

工藤繁裕

比較法的・憲法史的視点も取り入れながら、日本国憲法の基本原理を中心に、その全体構造の理解に努める。さらに、判例等を通じて、現代日本の憲法状況・

憲法問題についても考える。

授業は、原則として講義形式で行うが、一方通行とならない様、アンケートや質問によって工夫したい。

## 心理学

木津川 家久

学問・科学の本質、心理学の目的と方法を概説してから、社会的問題や日常生活と密接な関係をもつ心理現象を考察する。内容の主なもの、物事の認知とその錯誤の心理、暗示と被暗示性、性格の類型的な見方とその限界、性格検査とその利用法の問題、乳幼児期の環境と不適応問題、育児態度・育児法と性格形成、依存性と自立性、日本人の人間関係の特徴とその要因、神経症とその治療法、知能の測定法と早期教育の是非問題。

## 《自然系科目》

### 数 学

入来院 ひさ子

一般教養の数学として、普段の生活に結びついた身近な事象を題材にし、具体的に考えやすい分野である統計学の基礎を学ぶ。さらに、読み書き算盤に次ぐ第4の基礎的素養と認識されつつある情報処理の基本的な概念を学ぶ。

身の回りにある様々な数値や情報にふりまわされるのではなく、あふれる情報に正しく意味付けし、必要なものを選択し、それをを用いて自分で考え分析し、生かせる能力を身につける事を目的としたい。

### 化 学

刈 米 孝 夫

概要・人文科学の中での化学の分野の位置を認識して貰い、宇宙・地球・そして地球上での山・川・海・地殻更に生存する生物とか植物の化学、最後に人類に対し、又地球環境に対しての化学の功・罪を講義する。

視点・平易に説明して化学に親しんで貰うよう講義する。

授業・講義の他教育ビデオを併用する。学生数が少ない場合実験も行う。

### 化 学

滝 沢 靖 臣

我々人間の生活に於いて、食糧、健康、機能性物質、環境、エネルギー等、どれをとっても化学と深く係わっている。身近にある“物質”の発展や進歩は特にめざましいものがある。物質は“化学の目”を通して、はじめて正しく理解されるものであり、本講の中心は次の3点を主として解説し、探求する。(1)近代化学への発展の過程 (2)化学の基礎となる考え方 (3)身近にある化学現象について。

## 小 作 明 則

### 生 物 学

地球環境の変遷と共に生物がどのように進化発展してきたかを概説することで、生物と環境のかかわりについて理解を深めてもらいたい。これは今日我々が直面している重大な地球環境問題についての生物学的側面からの理解を目的としている。さらに「ヒト」という特殊な動物について生物学的、人類学的な観点から説明することで上記環境問題と人類との結び付きについて考えを深めるきっかけとなるような講義としたい。

### 生 物 学

近 藤 正 樹

生物の生活という面から扱う科学(生態学)の立場から科学論一般に必要な“自然哲学”が育つように講義をする。生物と環境、植生と動物相、動植物を含めた環境とヒトの生活、文化という筋道で講義をする。

### 生 物 学

林 文 男

地球上に生命が誕生して以来、現在みられるような複雑な生物相が形成されてきた。そのしくみを遺伝と進化という点からまず考えてみたい。次にヒトを中心として、生命活動とエネルギー、ウィルスと免疫、細胞の進化、生物時計、生態系と環境問題などを具体的にとりあげてみたい。知識のつめこみではなく、生物をとって科学的な視点が広がればと思う。スライド映写なども何回か予定している。

### 地 学

杉 村 新

教科書「地学図解」(第一学習社)は必ず持ってくる。講義中のおしゃべり厳禁。毎回スライドを映しながら講義する。持込不可のテストで成績をつける。地学は暗記物ではないから、教科書のまる暗記はダメ。内容の理解の程度を判断して採点する。杉村の講義は、地震や火山の話を中心にする予定。

### 地 学

田 村 芳 彦

講義は、地球の内部構造やプレートテクトニクスを概説して、それが地上の火山や噴出するマグマとどのような関係があるかを解説する。教科書は「地学図解」(第一学習社)を使用する。スライドやOHP、時にはビデオを用いて講義する。

《総合科目》

人間

北 郁子・東 喜望・平賀明彦

過去数十年の間に日本人の食生活は大きく変化したが、それでもなお米飯中心の生活は変わっていない。「おにぎり」という言葉には我々の感情を刺激する特別な響きがある。稲・米・米飯にまつわる行事や伝承にも米に依存してきた生活とそれへの愛着や苦悩が認められる。この授業では稲の栽培や米をめぐる生活について4名の教員が歴史、経済、民俗、伝承、栄養などいろいろな面から講義し、人間とその生活を考察する。

外国語科目

1年次・2年次

外国語（英語、独語、仏語）の基礎をしっかりと身につけると同時に、外国の言語、文化、社会を自己のなかで相対化することを目的とする。

《保育科》

英語 I-1  
英語 I-2  
英語 II-1  
英語 II-2  
独語 I-1  
独語 I-2  
仏語 I-1  
仏語 I-2

中島好伸・清野茂子・野田尚文・森田眞澄  
中島好伸・清野茂子・野田尚文・森田眞澄  
後藤玲子  
後藤玲子  
正路妙子  
正路妙子  
村山知恵  
村山知恵

《心理学科》

英語 IA-1  
英語 IA-2  
英語 IB-1  
英語 IB-2  
英語 IIA-1  
英語 IIA-2  
英語 IIB-1  
英語 IIB-2  
独語 IA-1  
独語 IA-2  
独語 IB-1  
独語 IB-2  
独語 II-1  
独語 II-2  
仏語 IA-1  
仏語 IA-2  
仏語 IB-1  
仏語 IB-2

磯山滯一・後藤玲子・中鉢恵一・藤田久美子  
磯山滯一・後藤玲子・中鉢恵一・藤田久美子  
後藤玲子・坂本 恵・藤田久美子・森田眞澄  
後藤玲子・坂本 恵・藤田久美子・森田眞澄  
磯山滯一・中鉢恵一・森田眞澄  
磯山滯一・中鉢恵一・森田眞澄  
後藤玲子・藤田久美子・森田眞澄  
後藤玲子・藤田久美子・森田眞澄  
正路妙子  
正路妙子  
正路妙子  
正路妙子  
正路妙子  
正路妙子  
村山知恵  
村山知恵  
村山知恵

《教養科》

英語 I-1  
英語 I-2  
英語 II-1  
英語 II-2  
独語 IA-1  
独語 IA-2  
独語 IB-1  
独語 IB-2  
仏語 IA-1  
仏語 IA-2  
仏語 IB-1  
仏語 IB-2

大佛義信・窪田美穂子・ハベル清子・藤田久美子  
大佛義信・窪田美穂子・ハベル清子・藤田久美子  
清野茂子・後藤玲子・ハベル清子・森田眞澄  
清野茂子・後藤玲子・ハベル清子・森田眞澄  
正路妙子  
正路妙子  
正路妙子  
正路妙子  
村山知恵  
村山知恵  
村山知恵  
村山知恵

# 保健体育科目

1年次

## 体育講義

村田 務・池森 隆虎

健康の増進と体力の向上をはかり、豊かな生活を営む上で必要な基礎的知識について、保健学的、又は運動学的視点から理解することをねらいとする。

保健学的視点からは、現代社会の健康問題について概括するとともに、そのうちの1つを取り上げ、その医学的側面と、心理社会的側面について明らかにする。

運動学的視点からは、主に、身体活動による体力向上及び健康増進の生理学的メカニズムと、具体的な処方について明らかにする。

## 体育実技

村田 務・池森 隆虎・松岡由紀子

科学技術の進歩と経済の成長に伴い、運動不足や過剰摂食、精神的ストレスの増加などの健康問題が生じてきている。

今日、このような状況の中で注目されているのが「生涯体育（運動、スポーツ）」である。効果的な身体活動は、疾病の予防や健康増進に寄与するだけでなく、生きがいや自己の確立など質的に豊かな生活を可能にする。

体育実技では、このような観点から、生涯にわたって身体活動が可能となるような運動技能と知識の習得及び態度の育成をめざす。

《目的理解》

社会福祉概論

都留民子

社会福祉、特にその固有の視点を、現代社会の動態的な個人・家族のニーズに即して学習する。諸外国における社会福祉の理念・思想、制度、実践・活動の動向をおさえながら、わが国の社会福祉の特質を学習することを目的とする。

児童福祉

小林捷哉

児童福祉は児童の生活を保障し、心身の健全な成長発達を促進させることを目的とした社会的方策である。本講はその児童福祉に関する基礎的な知識を受けるとともに、現代日本における児童福祉（事業）の現状と課題を把握することをめざす。講義の内容は児童問題、児童福祉の成立と展開、児童福祉の意義と概念、児童福祉の対象・主体・方法、児童福祉のサービス体系、などによって構成される。教科書は初講の際に提示する。

保育原理 I

岡本 富郎・山口 寛子

「保育原理 I」は1年前期・後期に開講される。前期は、子どもと保育の現状、子ども観、保育の意義、目的、目標、制度、歴史などについて講義する。

後期は、前期の内容を継承しつつ、保育の計画、内容、方法に関する原理について講義する。具体的には、乳幼児の発達、学習に関する内外の諸理論と保育内容の諸領域、指導計画、指導方法の関係について、原理的、実践的に検討してゆく予定である。

教育原理

黒田 瑛・岡本 富郎・田中 未来

この科目では、ヒューマンイズムの思想にもとづき、人間の自己実現の援助としての教育のあり方について述べる。まず、教育の本質について述べ、続いて教育の対象としての人間、発達と教育について話す。さらに、西洋と日本の教育思想をたどり、教育の目的について学ぶとともに、教育制度、学校教育及びその内容と方法、学校の運営管理、家庭教育、社会教育について話す。



## 《対象理解》

### 発達心理学

小松 歩

人は受胎から死に至る生活の全過程で、周囲の環境や特に人との関係を通して、その可能性を実現していく。この過程で生じる変化を発達と呼ぶ。係り手となる我々には、変化の方向を見定め意図的に働きかける力が求められよう。本講では、特に乳幼児期、児童期、青年期の発達の特徴とそれを促す要因を中心に講じ、各時期の発達を援助する方法を心理学的観点から探る。また一生を見通しながら各時期の発達を考える力を養う場としたい。

### 教育心理学

高橋 まゆみ

人間を育てるということに関する基本的な事項について学んでいく。

学ぶこと（学習の基礎）、教えること（学習指導法）、はかること（教育評価）、性格の形成、適応・不適応、保育集団のあり方などについて事例を通して考えてみる。理論的な事実や用語を理解しながらも、身近な保育・問題となる事例（登園拒否、障害児保育等）を自分の視点でとらえ直せるよう進めていくつもりである。教育心理学的なものの見方・考え方を促すような講義としたい。

### 小児保健 I

樋田 豊治

小児保健は保育の基礎である。保母は健康に成長する子の知識（生理、発達、栄養、精神衛生）を学ぶと共に、病気の知識（子どもがかかりやすい病気の症状と手当ての方法）、障害を持つ子どもの保育についての知識を身につけておかなければならない。

私は障害児施設の医師及び保育園園医として、保母と共に仕事をしているので、その経験をもとに講義をする。

### 小児栄養

北 郁子

#### 1. 小児期栄養の重要性

(1)小児期発育の栄養からみた特徴

(2)小児期栄養と食生活の特性

#### 2. 発達栄養生理

#### 3. 小児の栄養代謝とたべもの

#### 4. 小児の栄養所要量

#### 5. ヒトから人間に成長する、小児期の栄養と食事の視点から食事の自立を考える。

## 《内容・方法理解》

### 保育内容総論

近藤正樹・八木紘一郎・民秋 言

1学年次前期に位置するこの科目は、保育志望の学生諸君に開かれた「入り口」として、「子どもの園生活と保育」を概観することと、いかに「保育」が意義深いものかということを理解することを主目的にし、「保育」の営みとその「内容」に関する基本的理解を理論的且つ演習的（集中演習）に追究する。使用テキスト 『保育内容総論』 萌文書林、大場牧夫、民秋言、吉村真理子編

### 健康（保健行動）

村田 務

幼稚園や保育所で指導・展開される領域「健康」のうち保健分野を取り扱う。授業では、「どのようにすれば、楽しくてためになる保健指導を展開できるか」を課題とし、その基礎的知識と技術について学ぶ。

学習内容は、①健康論（現代の健康問題と子供の健康）、②保健行動論（諸保健行動とその背景要因）、③保健教材論、保健指導技術論、及び④保育施設における健康管理論からなる。

授業は講義だけでなく、討論や演習・実習を通して展開する。

### 言語 I（言語行動）

佐々 加代子

言語は人間の特徴のひとつであり、思考、行動に代表される。人間関係展開の手がかりともなる。出生直後から死に至るまで言語が社会生活で機能していくことが目指される。言語を周辺領域との関連でおさえながら、人間社会における言語、保育における言語を考える。乳幼時の言語発達、言語発達の歪みの問題について促進要因と阻害要因を検討する。

言語の諸側面を育む方法論の一助に演習を交える。

当該年度作製の「保育者養成のための言語」をテキストとして用いる。

### 乳児保育 I

西ノ内 多恵

0、1、2歳児クラスを含めた乳児保育の目的と意義、乳児保育の原理、内容と方法などについての基礎的理解を得ることをねらいとする。

#### 1. 乳児保育とは

#### 2. 乳児保育における集団と個の考え方

#### 3. 乳児保育の条件（人的・物的）

#### 4. 乳児の生活と遊び

（尚、特別講義の形で、医学的な立場から乳児の成長・発達について内藤寿七郎先生に講義していただく予定です。）

## 児童文化

志摩 弘

児童のおかれている現代の文化状況と伝承文化の今日的意義と方法を学ぶ。絵本や昔話等を読み聞かせ、正しい理解力を育てるために子どもの劇や人形劇を学ぶとともに、正しい話し方、発音、言葉の選び方、表現の仕方、子どもへの話し方を学ぶ。さらに、文字環境をととのえ、文字への関心を子どもが持つよう保育の在り方について学習する。

### 《基礎技能》

音楽 I (基礎理論) 今井久仁子・加宮 葵・諏訪羚子・関根美和子・  
舩本清美

前期は、音程、音階、調、初歩和声等の音楽の基礎理論で、対象は30名、90分授業で実施する。(毎回、小テストをやりながらすすめる、休むと次回の授業がわからなくなるので欠席には十分注意する事。)

音楽 I (基礎技能)(ピアノ)(声楽) (ピアノ) 今井久仁子他16名  
(声楽) 加宮 葵・豊野雄次郎

後期からは基礎技能の実技に入る。(ピアノ)は、両手の練習、音符の分割、音の切り方、指をくぐらせる等、最低12タイプの弾き方を、種々の調性による小曲を弾くなかで、理解し習得するように指導する。3～4名45分の枠内で個人レッスンで実施する。

(声楽)は、簡単な発声練習と初歩的なソルフェージュの練習を主体とし、読譜力を身につける事を目的としている。

### 図画工作 I

八木 紘一郎

保育をめざす学生は、自らも表現文化活動を創造的に享受できることが望ましい。

前半期では、学生自身のために必要な造形的表現の基礎技能の習得を目的にする。紙や絵の具や空き箱などの身近な素材を使った造形表現の実技演習を行う。

後半期では、子どもの表現行動を総論的に概観し、子どもの造形的表現行動の諸特性を理解することをねらっている。

### 《研究理解》

#### 基礎ゼミ

専任教員

基礎ゼミでは、対象を論理的に捉える方法の演習を行う。実際には、ある指定した事象を論理的に捉える(観察、分析、整理、まとめるなどを含む)基本的な方法(話す、書く)の演習である。具体的には、話す、書く(レポートの書き方、まとめ方)演習中心になる。

### 《教育実習》

幼稚園実習 岡本富郎・若松美恵子・村田 務・師岡 章

幼稚園実習は幼稚園免許状を取得するために欠かせない。1年次は6月中旬から6日間実習を行なう。この最初の実習でつまずいたり、失敗すると、2年次(5月下旬から18日間実習)になって実習をさせてもらえない場合があるので、1年生は高校生気分を今すぐ捨てて自分で主体的に勉強してほしい。特に、言葉づかいや挨拶などの生活のけじめ、礼儀作法や掃除の仕方などがきちんとできていないと、よい実習はできない。何故なら、実習中、学生は半分は職業人(保育者)として実習を行うからである。

### 《保育実習》

#### 実習指導

保育所実習・施設実習担当教員

保育所の1年次の実習指導においては、

- ・実習前には、主に、保育所実習の目的
- ・1年次のテーマ、保育所の機能と役割
- ・実習日誌の書き方、実習態度

など系統的に学習する。事後指導としては、実習体験のまとめと報告、討論、レポート作成など行う。施設実習は、1年次においては、2年次の予備段階として、施設実習の概要、とくに児童福祉諸施設の体系と役割を中心に学習を行う。

#### 保育所実習 I

山口寛子・吉川研二・花原幹夫・師岡 章

保育所実習 I では、11月に10日間の実習を行う。保育所実習としては、最初の体験でもあり、実習生は、保育所保育の大まかな内容と流れ、各園の概況、機能を理解し、保育科の学生としての意識の形成、保育のイメージ作り、学習課題の発見などできることをねらいとする。と同時に、10日間の実習を通じて、保育所の子どもの生活と発達、保育計画と指導方法に関しても、具体例により学び、2年次の学習の土台を豊かにしてゆきたい。

《目的理解》

社会福祉方法論

都留 民子・川廷 宗之

社会福祉のニーズの実現の為に、社会福祉固有の視点と方法に基づき展開させられてきた実践活動と援助技術を学ぶ。理論としては、主としてアメリカで発展したソーシャルワーク（ケースワーク、グループワーク、コミュニテ・オーガニゼーション、ソーシャル・サーベイ、ソーシャル・アクション、そしてケース・マネージメント等）について学習するが、わが国の福祉施設・現場で独自に展開されている実践活動も事例としてとりあげる。

保育原理Ⅱ

西ノ内多恵・山口 寛子

前半は、保育の方法について、保育所保育指針のよみとりを行い、これを起点として、ビデオによる保育実践をとりあげ、分析的な視点を身につけられることをねらう。（西ノ内） 後半は山口が、3歳未満児の年齢の特徴に留意しながら、遊びを中心とした諸活動の展開過程と指導法について、環境、保育者、子どもなどの具体例を通じて学ぶ。

養護原理Ⅰ

浅井 春夫

社会的養護における施設養護のあり方について、現状、歴史、制度などを理解するとともに、各種の児童福祉施設における実践に共通する養護上の基本原理の基礎的理解をめざす。内容の骨子は、1 ホスピタリズム論の克服、2 施設養護と里親制度、3 養護系施設、4 障害系施設、5 情緒・教護系施設の現状と実践上の課題、6 施設養護の方法論、7 養護実践の基本原則、8 児童福祉施設をめぐる政策動向と今後の展望などである。

養護原理Ⅱ

浅井 春夫

養護原理Ⅰで学んだ施設養護の基本原則を踏まえて、施設養護の具体的な内容について最新の成果を紹介しながらすすめていく。内容の骨子は、1 子どもの権利条約と養護実践、2 日常生活の領域と実際、3 高年齢児の養護、4 性教育、5 児童虐待への対応、6 アフターケア、7 職員論、8 地域社会と施設、9 これからの児童福祉施設像などである。問題意識の形成に役立つ講義をめざしたい。

《対象理解》

臨床心理学

小松 歩

心身症や登校拒否などの心理的問題は低年齢の子どもにも見られ、保育者たる我々にも身近な問題である。また生きている限り、誰もが何らかの心理的つまづきを経験すると言える。本講では、心理的に悩み苦しむ個人を理解し、彼らの立場にたって心理学的に働きかけ、立ち直ることを援助する基本的な臨床的態度と知識を養う。これは日常の人間関係にとっても最も基本的な姿勢と言え、現場で種々の相談に携わる際の参考にもなる。

小児保健Ⅱ

樋田 豊治

小児保健Ⅱは、福祉施設に入所している子どもの保健である。家族と別れて施設で生活する子どもは、何らかの身体的・精神的・社会的ハンディキャップを持っている。施設で働く保母は、障害の原因・症状・指導技術の知識、施設の健康管理を身につけておく必要がある。

私は心身障害児施設の医師として、保母と共に仕事をしてきたので、その経験をもとに講義をする。

小児保健実習

外ノ池碩子・水波佳津子

乳幼児保育に必要な看護と技術、保健衛生について習得する。

1. 小児保健実習の目的
2. 小児の健康状態の観察
3. 主な症状に対する看護
4. 小児に起りやすい事故とその応急処置
5. 小児の身体測定法とその評価
6. 小児の生理的条件の測定と観察
7. 実習・沐浴・消毒法・薬の与え方・電法・救急法、繃帯法、乳幼児の取扱法、乳児体操

小児栄養実習

北 郁子・菊池波津子・国井雅代

小児期の食事の特性と発達につき胎児期、乳汁期、離乳期、幼児期、学童期に分け理論と実習を行う。

1. 発育に必要な栄養と食文化を子ども達に能動的に知らせる料理形態と共食のしかた
2. よい食習慣の確立のための理論と実習
3. 食事計画とその手順
4. 小児期食事の現状と問題点

## 精神保健

工藤行夫

精神的健康の保持、増進をはかり、精神障害を予防、治療する諸活動が精神保健である。WHOの健康の定義に「身体的、心理的、社会的にwell-beingの状態にあること」とあるように、身体レベルから社会レベルまで広い領域が含まれる。精神の発達段階(ライフサイクル)に応じたそれぞれの精神保健を、臨床的知見を交えながら検討する。

### 《内容・方法理解》

#### 教育課程総論

岡本富郎

「教育課程総論」は他の諸科目との関連で位置づいている。講義では「教育課程」の意味、必要性、園生活のとらえ方、あそび、しごと、課題となる活動、集団、行事、保育上の様々な概念などについて話す予定である。また、教育課程の法規的な側面である「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」についても話す。授業方法としては実際例を紹介しながら話し、受講生と一緒に考えながら進めていくつもりである。

#### 人間関係(社会行動)

民秋言

子どもが社会的に成長するとはどういうことかを考える。まず人とのかかわりのなかで社会性を習得していくメカニズムをとらえることが課題となる。また、子どもをとりまく社会環境に注目し、それからのそしてそれへのはたらきかけを考える。使用テキスト 萌文書林『子どもと人間関係』(大場牧夫・大場幸夫・民秋言共著)

#### 環境 I (自然認識)

近藤正樹・吉川研二・小作明則

成長過程にある子供たちを、自然とともに生きる喜びのわかる人間に育てることは、私達に課せられた重い課題です。本講義では身のまわりの環境諸条件のうち、自然事象にかかわるものを扱います。幼児教育者に不足している理科系素養をいかに充足していくか? これまでに学んだ知識をより確かなものとし、使えるように訓練すること。自然とのふれあい体験が欠落しがちな現在、選択する学生たちに十分な体験教育を施すよう配慮している。そのために授業では数多くの宿題や作業を課したりする。

#### 表現 I (文化行動a)

若松美恵子・加宮葵

子どもの豊かな人間性を育てるために、様々な音や動きを通して養われる感性や創造性が、無理のない形で表現できるよう、子どもの発達とその特徴を踏まえた指導の方法を実践をからませながら学ばせる。

この中で音楽を通しての子どもの表現活動がスムーズに行われる様に、次の項目を考えていきたいと思っている。・子どもの発達と音楽の関係 ・幼児集団と音楽の関係 ・子どもの音楽教育と保育者の問題 ・指導計画等。

次に、子どもの身体表現活動が豊かに行われるように、次の項目をおさえていきたいと思っている。身体表現の意味・身体表現力の発達・幼児集団における身体表現・身体表現の指導。

#### 表現 I (文化行動b)

八木紘一郎・花原幹夫・海老原京子

子どもは、表出的な表現と共に既存の表現文化に出会い、それらの様式を取り入れて表現する。そして、身振りや音声など“身体を媒体”にした音楽やダンスなどの表現文化活動(文化活動a)と、紙や空き箱や木材などの平面、立体“物を媒体”にする造形的な表現文化活動(文化活動b)の両方をミックスして総合的に表現する。ここでは、後者の“造形的な表現文化活動”を扱い、その“援助内容・方法”の習得を目的に演習する。

#### 環境 II

近藤正樹・吉川研二

環境IIでは無理な内容(長期的観察や野外観察など)を体験することにより、環境と人間との関わり方の原点を知る機会としたい。身近な自然を再認識するためのコア・スタディや、“失われた体験”を補充する臨海実習や山野実習、植物栽培などを考えている。

#### 言葉 II

佐々加代子

障害児を含めた乳幼児の言語発達過程において発達助成者として位置づく保育者に、さまざまな物的教材を媒介として育む「方法論」の習得を目指す。個及び集団の発達に見合った教材の選択と技法を学び、さらに評価修正技術の修得に置く。

保育者自身のことばの表現力の養成を基盤にした上で、紙芝居、絵本、パネルシアター、エプロンシアター、人形、素話、ことばあそびなどの教材や視聴覚教材を用いた演習とする。

表現Ⅱ            リトミック(新宅 泉)    わらべうた(茂手木節子)  
                          童謡(平野ミヨ子)    ダンス(若松美恵子)  
                          デザイン(花原幹夫)    劇(志摩 弘)

子供の表現活動に、より高度な内容・方法を伝えるための指導法を習得する。  
 6コース開講される。

<リトミック>ピアノなどのリズムに合わせ、全身で即時反応の動作をするダ  
 ルクローズ方法論の幼児向けのもの。<童謡>作詞・作曲された子供のための  
 歌で保育の場で多く歌われているもの。<わらべうた>遊びを伴う伝承的ゲー  
 ムソング。乳児からの方法論を学ぶ。<ダンス>幼児教育に題材をとった創作  
 ダンスを通し、学生の感受性を高め創造性を養う。<デザイン>描く作るとい  
 う基本的な造形方法を用い、目的を持って広く人々に伝える。<劇>劇で表現  
 するとはどういう事かを実技を通して理解する。

### 保育計画法

藤野敬子・西ノ内多恵

保育を実践するためには、保育環境を整備したり、保育の時間的・空間的な  
 展開を工夫したり、発達を踏まえた活動内容や指導法などの理解が必要となり  
 ます。

保育計画法では、保育の目的、内容、計画の立案、評価などについて理論面  
 と実践面から必要な諸問題をとりあげます。

そして講義と演習形式で、ビデオやスライドも併用しながら進めていきます。  
 「計画を立てる楽しみ」まで到達できれば、と願っています。

### 乳児保育Ⅱ

米山千恵

「乳児保育Ⅰ」で学んだ乳児保育の基礎的な事項の上に、より具体的、実践  
 的に乳児保育の実際について理解が深められるよう、保育内容、指導計画、ク  
 ラス運営について、知識や考え方、方法を学ぶことをねらいとする。

- 1 乳児保育の現状
- 2 生活と遊び
- 3 物的条件
- 4 保育計画と指導計画
- 5 家庭との連携について

### 養護内容

浅井 春夫

養護原理Ⅰ、Ⅱを踏まえて、できる限り具体的な場面を想定して模擬実践や  
 ロールプレイ方式などで演習をおこなう。基本的には、養護原理Ⅱで講義した  
 内容を実際に自らの頭と身体で理解していくことをめざしている。上記の  
 科目とあわせて履習してほしい。

内容の骨子は、言語的・非言語的コミュニケーションのあり方、問題行動へ  
 の対応、児童虐待の発見と対応、性教育の取り組みなど、実践的なテーマを扱  
 う。

### 障害児保育

高橋 まゆみ

まず「障害」の概念を理解し、それに関わる療育や施策あるいは専門スタッ  
 フについて地域の諸機関を中心に解説して、保母の位置づけを確認する。さら  
 に、障害のメカニズム、自閉症、学習障害などの障害の種類や行動特徴につい  
 て事例研究的に取り上げ、保育実践上の課題や解決手段について触れる。また、  
 障害児の発達の評価方法についても学習し具体的な事例に試みる。講義全体を  
 通じて、統合保育のあり方や今後の展望について検討していきたい。

### 家庭管理

佐藤 美千子

児童の成長発達に大きな影響を及ぼす家庭の本質と機能を把握し、家庭管理  
 の意義と実際—家族関係、家事労働、生活時間の管理などについての基礎的な  
 事項を講ずる。

### ＜基礎技能＞

#### 音楽Ⅰ(ピアノ)

今井 久仁子 ほか16名

自律した毎日の練習の積み重ねが、成果を現してくる重要な時期となります。  
 7月には、余裕をもって、3グレードの試験が受けられるよう、自分の進度  
 を調整し、確実に集中した練習をしてほしいと思います。

#### 音楽Ⅰ(声楽)

加宮 葵・惣田 修・平野ミヨ子

2年次においては、発声練習・ソルフェージュは、やや高度になり、並行し  
 て、新曲の譜読み、はっきりした言葉の発声、歌唱法等を指導し、スムーズに  
 歌が唱えるようにという事を目的としている。

音楽Ⅱ ピアノ(今井久仁子・諏訪玲子・関根美和子・舛本清美)  
うた(加宮 葵・豊野雄次郎・平野ミヨ子)  
ギター(小山 勝)

始めは不得意であっても、この一年間で得意な科目になったと前向きに自覚できるように、基礎技能の幅を広げ、専門性を高めるための選択科目です。

ピアノ、ギターなどの楽器と声楽にわかれ、曲の視奏、視唱などが的確に、より早くスムーズに出来るようになることを目的とします。

図画工作Ⅱ(版・木工) 花原 幹夫・棒 公志朗

「図画工作Ⅰ」で学んだ造形の基礎技能の中からさらに専門的に学ぶために、特に「版・木工」を通してそれぞれの知識、技能の専門性を高め、表現の広がりをめざしていく演習である。

具体的には、版は、モノを写し、それを版にして複製していく基本的技術を体験していく。木工は、木という素材の理解とそれを加工していく工作の基本的技術を体験していく。

体育Ⅰ 若松美恵子・高野 牧子

乳幼児の運動に関する発達をふまえ、必要な運動の方法とその指導法を学ぶ。又保育者として適切に運動が行えるよう資質の向上及び体力の増強をめざす。以上を授業の目標として、講義及び実技で行う。

体育Ⅱ 榎本 至

最近、街に子ども達の遊び場が減り、一方ファミコン等の室内ゲームが全盛とあって、「受け身的な」遊びが増えています。この授業では、「身体を使って」「大勢で楽しく」「工夫して」遊ぶことをポイントとして、真剣に「遊び方」を研究します。教えている先生が楽しくなかったり、熱中できなかつたら、教わっている子ども達が楽しめるはずありません。まずは「どうすれば自分が熱中できるか」頭と身体をフル回転させてみましょう。

### 《研究理解》

ゼミナール 専任教員

ゼミナールでは、教員の指導のもとに、テーマに従って1年間にわたる共同の学習を行う。文献・資料の精読や話し合い、あるいは観察、調査など活動内容は多様である。学生が主題について深く学ぶとともに、研究の方法を習得す

ることを目標とする。ゼミナールの人数は15人前後である。ときに応じレポートの提出が課せられるとともに、学年の終りに口頭発表会が予定されている。学生の主体的な参加がのぞまれる。

### 《教育実習》

幼稚園実習 岡本富郎・若松美恵子・村田 務・師岡 章

1年次の実習に基づいて、2年次には5月下旬から18日間の実習を行う。この学習では、自分で「指導計画」をプランニング・作成し、実習中の1日ないしは2日間は、実際に先生になって実習を行う。きめの細かい真剣な学習をしておかないと、失敗をしてしまうので、2年次の4月からこの実習に向けて準備をしてほしい。特に1年次の実習後、自分自身で気づいた問題点や指摘されたことをよく反省し、自分で具体的に学習しておく必要がある。

### 《保育実習》

実習指導 保育実習・施設実習担当教員

保育所実習Ⅱの実習指導においては、事前指導として、主に、実習の目的・意義・テーマ、保育所における子どもの活動と指導計画、指導法、指導案の立て方等について学習する。施設実習の事前指導としては、養護系と障害系に大別し、基本的事項について説明を行った上で、各施設別の指導の現状と課題等について学ぶ。事後指導としては、保育所、施設共に、実習体験の報告と討論・まとめ、レポート作成などを行う。

保育所実習Ⅱ 山口寛子・吉川研二・花原幹夫

保育所実習Ⅱにおいては、1年次(必修)における保育所実習Ⅰの学習を土台に、乳幼児の生活、遊び等に関するより高度の観察、理解を進めるとともに、保育者の子どもへの対応、指導過程、指導法等に学び、指導案をたてて実習を行う。

施設実習Ⅰ 浅井春夫・都留民子・高橋まゆみ

養護施設、精神薄弱児施設など各種の児童福祉施設(保育所を除く)における保育実習は保育資格取得のための必須科目である。この実習は児童や職員との人間的なふれあいのなかで施設養護の実際を知ることで出来る貴重な機会である。それはまた、保育者をめざす者にとっての人間観、児童観、児童養護観、保育者像を検証し、確立していくことの第一歩となろう。なお、施設保育を志

ざす者には選択実習（施設実習Ⅱ）も用意されている。実習の時期は、2年次の11月に（一部分は8月）予定されている。

#### 施設実習Ⅱ

浅井春夫・都留民子・高橋まゆみ

施設養育についてさらに深く学びたい者のために、選択必修科目の実習として本科目が用意されている。必修の施設実習Ⅰで行なった種類以外の児童福祉施設で実習することになるが、実習の意義や方法は施設実習Ⅰとかわるところはない。施設実習Ⅰ・Ⅱの両方で養護系と障害系（収容または通園）の2種類の実習が望ましい。実習の時期は、2年次の8月の間に随時実施する。希望者は担当教員に早めに相談されたい。

**〈基礎心理科目〉****心理学序説**

木津川 家 久

学問・科学の本質、心理学の目的と方法を概説してから、現代の社会問題や日常生活と密接な関係を持つ心理現象を考察する。内容の主なもの、物事の認知とその錯誤の心理、暗示と被暗示性、性格の類型的な見方とその限界、性格検査とその利用法の問題、知能の測定法とその利用、技能の習得とその指導法の問題点である。受講者は、専門用語の記憶ではなく、心理現象を理解することに努めてもらいたい。

**青年心理学**

林 潔

青年期、それは人生で一番変動の大きな時期として位置づけることもできます。

前半は青年心理学を概括的に解説します。

後半は青年期の問題行動を中心に、授業を進めます。

〈教科書〉 岡堂哲雄編 青年期の心理 新曜社 980円

**発達心理学**

神 田 信 彦

まず、乳児期から老年期までの心理的な発達の変化の基本的特徴について概説し発達に関与する諸要因を考察する。

さらに青年前期までの認知の発達、社会性の発達等を検討しながら人の行動のあり方についての理解の仕方を考える。

**条件づけ**

梶 原 直 樹

学習心理学を学ぶときに、最も基本となるレスポナント条件づけとオペラント条件づけについて、多数の実験例をまじえながら学んでいきます。条件づけについては、動物実験から明らかになったことがたくさんありますが、それらがヒトの行動にどのように関係しているか、またそれらが教育や治療などでどのように応用されているかなどについても紹介します。

**性格の形成**

木津川 家 久

性格の概念、性格の先天的要因と後天的要因、乳幼児期の環境と性格形成、著名な2人の作家の性格と乳幼児期の経験、育児法・育児態度の影響をどう考えるのがよいか、ホスピタリズムと母性的養育の喪失問題、母子相互作用の重



要性、依存から自立への発達過程、マスローの基本的欲求の階層的発達理論、ロジャースの性格理論、神経症の原因と治療法、心理療法とカウンセリング等性格の形成と不適応問題について視覚教材を使って具体的に講義する。

## 社会心理学

倉澤壽之

人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では好意、恋愛、同調、服従、承諾、自己、対人間距離などのトピックを取り上げ、他者との関わりを二つの側面から考えてゆく。すなわち、「他者をどう思うか」という対人認知の側面、「他者からどのような影響を受けるか」という社会的影響の側面である。この講義を通して、他者との間に存在する様々な問題を実験心理学的な視点から捉え直して欲しい。

## 生理心理学

多喜乃亮介

私たちの「心」がどのように成立し、どのような基礎をもつものであるのかを知るために、「脳」を中心とした神経系の働きと「心」を対応させて考えていく立場が生理心理学と呼ばれる領域です。この講義では神経系の基礎となる神経細胞（ニューロン）に始まり、中枢神経系、末梢神経系の構造について理解します。次に、神経細胞同士の情報伝達や構造的変化（ニューロンの可塑性）から、心を支える物質的な背景を学びます。

## ＜演習科目＞

### 基礎技法演習

菅本康之

心理学を学ぶものが、どうしても避けて通れないテーマに「言語表現」があります。ある言語表現が、同時に人を傷つけたり、感動させたりする、そうした日常において常に起こっていることを思い起こせば、心と言語表現がいかにわかちがたく結びつき合っているかを知ることができます。この講義ではその言語表現の問題を様々な角度から考えてみたいと思っています。みなさんが読み、話し（聞き）、書くことができるように。

### 実験計画法

八木孝彦

科学とはなにか？ 科学的方法とは？ について説明したのち、実験計画の基礎となる概念を学習する。独立変数と従属変数、実験群と統制群、要因計画等である。

ついで実験の分析を行う。実験事例をとりあげ、実験計画のすぐれている点

と問題点等を検討する。

なおこの科目はテキスト（別に指示）を使用するので受講者は購入のうえ、授業に出席すること。

## 心理学演習Ⅰ

木津川家久・林 潔・八木孝彦・金子尚弘・

多喜乃亮介・倉澤壽之・神田信彦・寺田雅英・大木桃代

心理学は科学的な方法を採用入れることによって大きく発展した。心理学で扱う事象は身近なものが多いので、主観的な解釈に陥りやすいものであるから実験、検査、調査等の方法についての知識は心理学を学ぶ上で不可欠である。

心理学演習Ⅰでは、心理学の研究に必要な基礎的な方法を用いて実験を行ない、その結果をレポートにまとめることによって、実験、検査等の実施方法や結果の解釈の仕方を学ぶ。

## 心理学演習Ⅱ

林 潔・八木孝彦・金子尚弘・多喜乃亮介・

倉澤壽之・神田信彦・寺田雅英・大木桃代

心理学演習Ⅱは、心理学演習Ⅰの続きであり、演習課題は大きくなり、一課題あたりの演習時間も長くなっていく。また、研究法からみると、心理学演習Ⅰでは精神物理学的測定法、知覚・学習実験法を中心に学習したが、心理学演習Ⅱでは心理検査法、心理調査法、精神測定法が中心となった演習を行う。

## 文献研究

林 潔・八木孝彦・倉澤壽之・坂田成輝

担当の教員が自分の専門分野について文献を選択し、授業をすすめる。具体的内容とテキスト（単行本、論文）については別途連絡する。

## 心理統計Ⅰ

神田 信彦・星野 祐司

心理学を学ぶうえで必要な統計的手法と知識を習得させることを目的として実習を含んだ講義を行う。

心理統計Ⅰは、Ⅱへの前段階としてデータのまとめ方、基本的な統計値の算出の仕方など、記述統計を中心に授業を行う。受講生は学期始めに電卓（機種は学科で指定、生協で販売）を購入し、授業時はそれを使用する。

## 心理統計Ⅱ

金子 尚弘・星野 祐司

心理統計Ⅰで学んだ基礎的な記述統計学の知識を土台として、実際に心理学研究に用いられている統計的分析の方法を、その考え方、適用する時の条件、計算の方法を含めて修める。特に実験・調査の標本データの有意差を検定する

方法を、実際の数値例を用いて、ほぼ毎日実際に計算し検定することによって学んでいく。ここで学んだ考え方と方法は、心理学を科学的に学ぶ上で非常に重要な技術となることを留意して学ぶことが望ましい。

#### 情報処理 I

倉澤 壽之・中西 裕

今日、コンピュータは私たちの生活に浸透し、読み書きがキーボードやディスプレイを通じた形でなされる機会が今後多くなると予想される。この授業では文書作成ソフト（いわゆるワープロ）の実習を通して、コンピュータに親しみ、コンピュータとの基礎的な対話力を養うことを目的とする。コンピュータやワープロに全く触れたことのない人も、これを機会にレポート作成などにコンピュータを使用できるようにして欲しい。

## 心理学科専門教育科目

2年次

### 〈基礎心理科目〉

#### 感覚と知覚

金子 尚 弘

われわれが見たり、聞いたりすることは単に生得的で受動的な事ではない。知覚の後天的で能動的な側面について学ぶために、知覚のメカニズムとその獲得について視知覚を中心に講義する。スライドやビデオ教材を用いて、感覚生理学の知見や、錯覚など知覚現象を実際に目にしながらそのメカニズムについて考えてみる。知覚や行動など基礎心理学の対象に関して全般的な興味を有していることが望ましい。

#### 記憶と思考

梶原 直 樹

記憶とか思考ということばは、日常的に広く用いられていることばですが、それが心理学の中でどのように考えられているかを学習していきます。特にこれらは、生物にとって最も高度なところの働きとされているもので、心理学以前から深く探究され続けてきた問題です。心理学の中でも、認知心理学や学習心理学や発達心理学などが、これらの問題にアプローチしています。それらを簡単な実験なども行いながら紹介していきます。

#### 動機づけと感情

八木 孝 彦

最初に精神機能について考える。次いで心理学でこれまで提出されてきた動機づけ理論を、ホメオスタシスモデル、快楽主義的誘因モデル、認知モデル、活動—動機づけモデルにわけて概説する。

感情については、心理学に於けるその歴史を概観し、感情の分類、発達、機能を検討する。

### 〈演習科目〉

#### 英書講読

林 潔

心理学の比較的易しい英書を読みます。テキストはオーストラリアの高校生用の心理学の教科書です。

テキストはコピーします。

#### 情報処理 II

倉澤 壽之・中西 裕

この授業では表計算ソフトの実習を通して、数値データの処理とそのグラフ

化を学ぶ。数値データの処理は心理学の研究に欠かせないばかりでなく、人間生活の様々な側面でも行われている。ここで学んだことは、直接には卒業研究などの際に役立ち、さらにはどのような職業に就いた場合にも役立つと思われる。

情報処理Iを履修済みであることが望ましいが、必須ではない。但しそのような人は前もって相談して欲しい。

**心理学研究演習** 木津川家久・林 潔・八木孝彦・金子尚弘・  
多喜乃亮介・倉澤壽之・神田信彦

心理学研究演習は2年次後期の卒業研究につながる科目である。指導担当教員があらかじめ提示した演習のテーマの1つを選び、その指導教員の指導を受けて、原則として共同で研究をすすめて行くものである。

実験、調査、生理心理的測定テスト、文献研究など研究目的に応じたものとなる。

なお、提示した1つのテーマを希望する人が多い場合には他のテーマに変わることもある。

**心理学研究法A** 神田信彦・川島 真・三浦和夫・若山隆良  
**心理学研究法B** 多喜乃亮介・倉澤壽之・鈴木牧彦・寺田雅英

心理学研究法A、およびBは心理学の基礎的研究や応用にあたって必要な特定の技法を習得することを目的としている。測定器具を用いる研究法やコンピュータの技法などを選択して指導を受けることになる。

なお、前期に心理学研究法A（又はB）を選択した場合は後期に心理学研究法B（又はA）を選択することになる。

## 《応用心理科目》

**精神生理学** 多喜乃 亮 介

ものを見たり、感じたりする背景で体にはどのような生理的な変化が生じるのでしょうか。さまざまな条件下で生理的な反応を記録して心の働きを知ろうとする立場が精神生理学と呼ばれる領域です。講義では基本的に人間を対象とした場合の研究手法、測定方法、実験例を中心に、心と体の関係がどのようなものであるかを学びます。おもに自律神経機能（汗線、心臓血管系、呼吸など）と脳を対象とした研究成果を学ぶ予定です。

## 心理検査法

木津川 家 久

心理検査一般の基本的な特徴、効用性と限界、利用上の留意点、心理検査者の資質と倫理など心理検査を利用する際に必要な知識を獲得できるように講義した後、代表的な投影法の技法、とくにロールシャッハ・テストの実施法と解釈法を講義する。

単位取得にはロールシャッハ・テストの実施（自分自身が反応するか、他者に実施する）を条件とする。

## カウンセリング

林 潔

今日のカウンセリングの分野について大きな影響を与えている。Rogersの考え方を中心に紹介します。

相談に来た人の「成長の力」を信頼し、その人の主体性を徹底して重んじる方法は、戦後の相談の分野に強い影響を与え今日に至っています。時間があればその他の立場についても紹介します。

教科書：内山、高野、田畑「講座サイコセラピーI カウンセリング」

日本文化科学社

## 行動療法

林 潔

人間の行動を学習の結果として理解するのが、心理学の学習理論です。行動療法はこの考え方を臨床の分野に応用しようとする試みで、わが国では昭和40年頃から盛んになって来ました。また最近では「認知的行動療法」と呼ばれる分野も盛んになっています。

この時間では事例を中心に勉強して行きます。

参考書は「カウンセリング」と同じです。

## 臨床心理学

若 山 隆 良

心理療法・カウンセリングとはいかなるものであるか、心理臨床の現場では実際にどのようなことが行われるかについて、入門的な理解を得ることを目的とする。心理療法の具体的事例をできるだけ多く紹介しながら、臨床心理学的な発想の仕方や臨床心理学の諸理論についても紹介する。講義の資料はその都度配布する。参考図書は講義の中で必要に応じて紹介する。

## 健康心理学

八木孝彦

健康心理学が成立した歴史的背景を、アメリカと日本で検討した後、その定義と方法を概説する。

次いでパーソナリティと健康障害について、特に冠状動脈性疾患とガンをとりあげてパーソナリティとの関係を検討する。

後半部では、バイオフィードバックや自律訓練法などの方法や、最近注目されてきた東洋行法についても解説を加える予定である。

## 障害児心理学

山田寿子

心身障害児の指導を行うためには、心身障害児の心理的基礎を十分に明らかにすることが必要不可欠である。また、障害児の心理・発達を理解することは、健常児の心理・発達をより理解することに通ずる。最初に心身障害児の心理学の意義と目的を明らかにし、障害のとらえ方を整理し、障害児の心理・指導を明確化する。次に各論として精神発達遅滞・自閉性障害・脳性麻痺・聴覚障害・言語障害の概念及び発達とその指導について述べる。

## 交流分析

林 潔

精神分析を易しくしたものが、交流分析です。

日常生活での自分の出し方、他の人とのコミュニケーションの仕方には良かれ悪しかれ、その人の特徴があります。そのいわばクセを知って対人関係に役立てようというのが交流分析です。VTRを使って授業を進めます。

参考：内山、高野監修「交流分析」日本文化科学社

## 児童相談

木津川家久

児童相談の歴史と現在の児童相談の活動について概説した後、児童の不応問題の診断と保護者に対する助言、子供の治療について講義し、それに続いて児童相談の事例を検討する。

知能は知能検査以外の資料を総合して判断する必要があること、子供の不応問題の解決には家庭環境の調整が大切なこと、どんな情報でも関連づけて検討して見る必要があることを事例にそって具体的に詳しく述べる。

前半はこのコラージュ療法をみんなでやってみます。  
後半はアイビイのマイクロ・カウンセリングを紹介します。

## 心理学特講Ⅱ

伊藤典幸

本講では、「応用」という観点から心理学を概観していく。

これまでに、実社会において心理学がいかに役立ってきたか、あるいは、役立っているかを、「産業心理学」、「環境心理学」、「交通心理学」といった心理学の応用各分野から分かりやすい具体例を紹介しながら解説していく。

## 《医学系科目》

### 心身医学

大賀達雄

病気を見るのではなく、病気を持つ人間を見る「全人的な医療としての心身医学」は、現代医療の最先端を目指しています。人間の心と体の結びつきは、とても密接なものです。心身医学の基本である心身の相関の考えや、ストレスがどのように体の症状となって出てくるのか、実際の心身症状、また治療の基本となる考えなどについて、とりあげます。具体的な例を通して心身医学的な症例の見方や、治療の実際にも触れていく予定です。

### 精神保健

青田洋一

現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。それを目標にかかげて、講義をすすめていきたい。

### 精神医学

青田洋一

症例や社会問題における精神医学的検討を通して、精神医学的な見方・考え方ができるようになること。たとえば、「気違い」や「狂気」などの言葉にかえて、「精神分裂病」や「躁うつ病」という用語で理解・表現できる、新しい視野を身につけること。それを目標にかかげて、講義をすすめていきたい。

## 《卒業研究》

木津川家久・林 潔・八木孝彦・金子尚弘  
多喜乃亮介・倉澤壽之・神田信彦

この卒業研究は、上記の講義を履修したものを基礎として行

# 教養科専門教育科目

1年次

## ≪文学系科目≫

日本文学史(古代)

久保木 壽子

「文学史」とは、作品・作者名を暗記するものではない。文学史の変遷や言語の表現機能に対する自覚の歴史に触れながら、文学の発生期から平安時代末までの作品―「古事記」「竹取物語」「源氏物語」「今昔物語集」などを適宜とりあげて、その古代文学としての特質について考えていく。

日本文学史(近・現代)

安田 孝

近代になって子どもは独自の存在意義を持つものと認められるようになった。文学の世界でもさまざまな子どもの姿が描かれるようになった。

そこで、近・現代文学に描かれた子ども像を読み解くことにする。一葉、鏡花、独歩、荷風、志賀、谷崎、有島などの作品を取り上げる。そのつどプリントを配布する予定である。

日本文学(中・近世)

東 喜望

文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。

前期は、原本(嵯峨本)の影印本を用いて『方丈記』を講読し、後期は、近松の『心中天の網島』をとりあげる。

国 語 学

梅 林 博 人

国語学の一般的な概論として、文学論、音韻論、語彙論、意味論、文法論などの分野について広くふれる予定である。(教職免許取得上必要な科目という点を考慮)。史的な言及もするが、いっぽう、なるべく身近な用例も交えるようにして、普段なにげなく用いている日本語をあらためて見つめ直すきっかけとなるようにしたいと思う。なお、テキストおよび参考文献などは開講時に指示する。

国 語 表 現 法

近 藤 健

「表現」には、さまざまな形態があるが、ここでは日本語(自国語→ことば)による表現が問題とされる。

日本人である(日本で生活してきた)以上、日本語で表現することができないはずはない。しかし、現実には日本語(書きことば)で表現することを苦手と意識する人は多い。

日本語で話している。しかし、日本語を書けない。はたして、本当にこういうことがあるのだろうか。根源から考えてみたい。

国 語 表 現 法

丸 尾 寿 郎

文章を「書く」うえで大切なことは、上手下手でもなく技法でもない。平生の生活で、いかにものごとをよく見つめ、考え、感じるかが根本である。だから「書く」ことは、そのような生活をつくり自己を育てる契機ともなり得る。本講座では、実際に「書く」こと、批評することを通して、自己を育てる文章表現の力がつくようにしていきたい。

## ≪歴史系科目≫

史 学 概 論

西 村 汎 子

歴史学を学んでゆく上での方法上の諸問題について学ぶ講義である。歴史学とは何か、歴史の発展段階、歴史発展の基本法則と特殊性、歴史における偶然性と必然性、人間の意識や行動が果たす役割などについて、できるだけ具体的な事実に即して考えてみたい。

史 料 講 読

高 橋 秀 雄

日本の代表的芸能の一つである能の大成者は、世阿弥であるとされているが、彼は能の芸術論としての『花伝書』(風姿花伝)を世に遺した。この書は体系的にすぐれた芸術論として洋の東西を通じての名著とされているが、それとともに人生論としての有益な内容をも具有している。

この『花伝書』を史料として講読し、日本の芸術論の中枢をなす幽玄の美を探るとともに、中世における人生観をも究める。

副題 「世阿弥の『花伝書』を読む」

## 史料講読

西村 汎子

歴史学は事実をもとにして推理を積み上げ、社会構成や人物の行動、文化を考えてゆく学問である。この授業では研究された論文や著書によってではなく、できるだけ生の史料を使って、自分の力で解説し、その意味を考えることを学ばせたい。扱う史料は鎌倉幕府が編纂した、鎌倉期の基本的な史料とされている『吾妻鏡』である。授業は学生の報告を中心に進める。

## 史料講読

湯川 郁子

明治前半期、日本が近代国家として確立していく過程の、政治や社会の様子を伝える公文書、個人の日記、あるいは人々の暮らしの様子を伝える調査記録、新聞記事などを題材として、史料を読み解くことを通して、時代の雰囲気に触れ、さらに歴史事実に迫っていく方法を学びます。テキストは岩波近代思想大系2『天皇と華族』を予定しています。適宜、コピーを配布します。

## 日本古代史（考古学を含む）

関 和彦

高校時代の教科書暗記の歴史からの脱却を目指し、「考える」歴史とは何かを日本古代史（原始時代の縄文から奈良時代までを対象）を舞台に考える。文献史料を中心に考古学、さらに民俗学・国文学の世界に足を踏み入れ、学際的に把握する方法をとる。具体的には二部構成をとり、前半は邪馬台国を素材に歴史の「見方」について考え、後半はその見方を柱に古代の人々の日常生活を具体的に復元していく。

## 日本美術史

山田 磯夫

日本の古代から近世にかけての絵画の歴史について概観する。各時代の作品の説明を通して、西洋画とは異なる日本絵画の特質について言及してみたい。スライド使用。

## ＜国際系科目＞

### 言語学

村上 まどか

「言語とは何か」に始まり、統語論、音韻論、形態論、社会言語学の諸分野まで、ひと通り言語学を概観します。観察対象とする言語は主に英語ですが、日本語との比較もあわせて行います。なお、冬休みは勿論、授業進行中もexercisesをやって提出し、言語学を自分のものにしてもらいます。

テキスト：Fromkin & Rodman 著

Language as Human Essence (三修社 1,300円)

## 英書講読 I

田中 安行

現代英語による文学作品、エッセイなどを取り上げて、基本的な語彙や構文をおさえつつ、物語の大きな流れ、登場人物や作者の心理などをしっかり掴んでいく読み方に慣れる。速読をめざした精読を行う。様々な作品によって英語文化の中にあるユーモア感覚やヒューマニティに触れていきたい。毎週、時事英語や英語の詩にも親しみ広い英語の世界を体験できる授業にする。

## 英書講読 I

中島 好伸

短編小説を精読する。小説だけに少々難しい文も出てくるが辞書を細かく引く習慣を身に付け、英文を正確に読む練習をする。必ず予習が必要である。テキストは未定。

## 英作文

田中 安行

基本的な英語表現に慣れながら自由な自己表現ができるように演習を行う。国際化時代に役立つように、音声による表現も重視し、基礎的なダイアローグの練習をして自分たちで日本や外国の文化について調べて発表を行う。様々な表現方法に触れてみたい。学生の積極的な参加によって活発な授業にしてほしい。

## 英作文

ハベル 清子

外国語の習得は自分の言いたいことを自分のコトバで伝え、相手にわかってもらう時に起こるといふ。教師がこの文章のパターンでこういうことを言えと教えても習得にはつながらないという。私はこの考え方にそって、各自の書く練習のお手伝いをしたい。辞書よりも、自分の言いたいことをたくさん、そしてそれを公にする少しの勇気をクラスに持って来て欲しい。

## 英会話 I

オーコーチ・リサ

This course will introduce the application of popular english through drama skits and pairwork activities. stress will be on self-expression rather than grammatical exercises.

## 英会話 I

スワン、ウィリアム ローレンス

このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していき、いろいろな分野で使われる言葉の領域も広げて行く。このクラスでは英語を使つてのコミュニケーションに重点をおき、文

法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。

成績の基準はクラスでどれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）をもとにつける。

## 英 文 法

寺 地 功 次

高校までに習ったが、なかなか身につけていないような基礎的文法事項を重点的に学習し直し、実践的に活用できるようにすることが目的である。授業での解説、演習に加え、多くの基礎的構文や表現を覚えてもらう。基礎を確立せずに先へ進んでも時間の無駄となるので、各自が單元ごとに一定のレベルに達しなければ、何度でも繰り返して学習してもらう。従って、理解できないところがあれば、必ず質問することが大切である。

## LL (発音法・聴取り)

ハベル 清 子

日本語にもある音も含めて、英語の子音・母音ひとつひとつを聞きわけ、また自分で再現出来るようにする。自然な英語の聞きとりのために、縮約形そして弱系、強勢と音調もやる。カセット・テープは2～3本必要。カセット・プレーヤーも自宅にある方がよい。試験は実際に自分が発音した単語や文章をふきこんだテープを提出するので、はずかしがらずに教えられた様に口を開けたり、舌を動かしたりすることが大切である。

## 《社会系科目》

### 民 俗 学

小 林 梅 次

民俗学の特徴、特に他の社会科学と異なる方法論より解き、民俗学の視点から日本人の心に照明を当てたい。身近な生活面を民俗学の観点から改めて問い直し、内省の学としての意義を認識させたい。

多少でも調査実習を試み、ビデオを利用し講義内容の具体化をはかり、理解を高めるようにしたい。

### 日 本 経 済 史

富 永 静 枝

日本経済の現状を正しく把握するためには、まず日本経済をその歴史の流れの中で構造的にとらえることが必要である。そこでこの講義では、資本主義が典型的に発展したヨーロッパ諸国と対比しながら、日本における資本主義の発達過程を明治維新前後から第二次世界大戦後における経済復興の時期までについてふれる予定である。

## 《外国語科目》 (文学コース・社会コース開講科目)

### 基 礎 英 語

ハベル清子・森田眞澄・藤田久美子・清野茂子

少数クラス編成(25名前後)。授業は原則として英語で行われる。基本的な発音・語彙・慣用句・文法などの知識を整理統合し、反覆練習することによって、英語を実際に活用できるようにすることを目的とする。従ってクラスではDrillに重きを置く。予習も必要だが、復習に十二分の力をそそぐこと。出席最重要視科目で通年必修。

## 《特設科目》

### 情報処理 (演習を含む)

宮 武 直 樹

本講義の目標は、コンピュータを学習の道具として活用できるような力と、情報社会に対応できる素養を身につけることにある。

コンピュータに慣れ親しむために、日本語ワープロの学習から入り、さまざまなソフトを使ってコンピュータを使いこなせるようにする。演習では文書作成、データベースの構築、グラフや図形の作成、CAIの作成などを行う予定である。また、簡単なハードに関する講義も行う。

### 英文タイプ・ワープロ

正 木 徑 子

情報化・国際化の現代社会に於ては、各種OA機器による事務処理の適確・迅速さが要求される。それに対応できる様に、先づタッチメソッドを完全に習得し、次にワープロの多岐にわたる機能を理解した上、各種英文ビジネス文書等を印書化するのに必要な基本的知識を身につける。

## 《教養演習 I》(ゼミナール)

専 任 教 員

高 原 二 郎

(必修) 通年

下記のようなゼミがある。それぞれのゼミは10名から15名程度で構成し、学生の報告・討論などをもとにして個別研究や共同研究を行ないながら、学生の自主的な研究をめざす。

また、研究をより豊かで確かなものにするために、実地調査や見学などを行う場合もある。

東ゼミ、富永ゼミ、高橋ゼミ、西村ゼミ、久保木ゼミ、田中ゼミ、平賀ゼミ、寺地ゼミ、中島ゼミ、高原ゼミ

## 教養演習 I

東 喜 望

### ○海洋文化圏の説話

大陸から見れば、日本はその対岸に浮かぶ島嶼群にすぎない。日本のよく知られている伝説説話でも、その淵源をたどると広くアジアの各地に及んでいるものがある。そんな神話・伝説・昔話をとりあげ、歴史には記されなかった民族のルーツや文化の伝播についても考察を深めていきたい。手初めに下記をとりあげる。

アマテラス大神・イザナミイザナギ・徐福・炭焼長者・桃の子太郎

### ○「源氏物語」(I)

久保木 壽子

現代において、なお多様なアプローチの方法を要求してくる『源氏物語』を取りあげる。(I)では、予言通りに栄雅を極めた理想の主人公光源氏が、光を失って退場していく幻巻までを取りあげる。

予言はどう実現されるのか、なぜ源氏は光を失うのか、平安という時代情況の中に作品を置いて、その主題・構造について一緒に考えてみたい。

意欲的な参加を期待。テキスト等後日指示。

### ○現代女性論 (I) 一 家族・家庭のあり方について一

富 永 静 枝

いま女性のライフサイクルは大きく変化し、女性の生き方も多様化しています。そこでこのゼミでは女性をめぐる社会的状況の変化を正しく把握し、女性としての望ましい生き方を模索するために、各ライフステージごとにどの様な問題があるか、家族や家庭のあり方について検討し、21世紀に生きる男女のあり方について考えます。使用するテキストは布施晶子著『結婚と家族』岩波書店

### ○日本女性史 (I)

西 村 汎 子

女性の地位と役割を考える上で、婚姻および家族のあり方は深い関係がある。『日本女性史』を読んで、原始から現代に至る婚姻および家族の状況がどのようなであったかを、日記・古典・小説などによって実例を追いつつ、考えてゆきたい。演習開始に当っては、現代の女性たちの現状について、ひととおり調査する予定である。

テキスト：『日本女性の歴史』(角川書店)

### ○日本近現代史 (I)

平 賀 明 彦

日本の近・現代史にかんする基本的な文献を輪読し、幕末・明治維新以降の

日本社会についてのイメージを豊富化することをめざしていきたい。そのなかで、個々のゼミ員が、自分なりのテーマを見つけ、さらに深く追究するための下ごしらえをしていく。取り上げる題材等についてはゼミが成立したところで相談して決めたい。

### ○文学の中の子ども I

田 中 安 行

文学の中で子どもが登場する作品を中心に、それぞれの社会的背景及び子どもの観を考えていくゼミである。前期には英語作品の中で代表的なものを輪読しつつ子どもをどう捉えるかについて学ぶ。後期からは各自で選んだ作品の原文や翻訳を通して作品に触れ、レポートを書き、担当者に発表をしてもらいクラス討論によって深めて行く。2年目の卒論のテーマに発展させていくので、積極的な多量の読書が要求される。

### ○アメリカ合衆国の政治と外交 I

寺 地 功 次

今年度はふたつの軸を考えている。

第一に、第2次世界大戦後のアメリカの対外関係について学び、激動の戦後国際関係においてアメリカが果たした役割とその功罪を、日本との関係も視野に入れながら考えてみたい。

第二に、新しい大統領のもとでアメリカが直面する問題について、日本などの国内政治や社会との比較を年頭において考察したい。

### ○アメリカ文学研究 I

中 島 好 伸

アメリカ黒人作家が書いた文学作品(短篇小説)を原書で読む。19世紀から現代にかけて代表的な作家を読むことにより、黒人文学の大きな流れを知ると共にその中で歴史がどう関わっているのか、西欧の文学との関係はどうかを丹念に調べてみたい。

### ○「義経が行く」

高 橋 英 雄

世に“判官びいき”なる言葉がある。平家追討の殊勲を立てながらも非業の死を遂げざるを得なかった源義経に対する庶民の同情が作りあげた言葉で、正義ではあるが弱い立場にある者に対する応援の気持を表わしている。

この源義経には、『義経記』が残されており、浄瑠璃・歌舞伎などに数多くの作品が上演されている。これらの作品を検討しながら、源義経の生涯を追い、英雄伝説・貴種流離譚などの誕生をも探る。



○近代日本の小説（有島武郎を中心に）

高原二郎

明治・大正・昭和、そして戦後の現代に及ぶ文学作品を通して、今に生きる私どもが考えなくてはならない課題をたずねてみる。文学作品を作品として「読む」ということ、それから、読みを通して考えるということ。つまり、自分の生き方を確かめること。自然と人間について、あるいは人間と人間について、考える。有島武郎という作家を一つの手がかりにする。

なお来年度は栗田廣美氏に引き継ぐ。

## 教養科専門教育科目

2年次

### ＜文学系科目＞

日本文学史（中・近世）

東喜望

古代の文学を継承しつつ中世において新たに勃興・発展した文学はどのようなものであったか、そして中世文芸を克服しつつ近世において創造された文学はどのような特質を持っていたか、これらの問いを軸として考察をすすめ封建制の文学の展開を跡づける。

主に軍記と和歌、小説と俳諧をとりあげる。

日本文学史（古代）

久保木壽子

奈良・平安時代の文学作品を扱う通年の講義である。本年は「女歌」について考えていく。前期は『万葉集』から、代表的な女流の歌をとりあげ、「女歌」の発生・展開の様相を見る。後期は、和歌と散文の接点にある『和泉式部日記』を通じて、女歌の可能性を検証し、更に平安期の女流日記文学成立の必然性についても考察を進めたい。

日本文学（近・現代）

山田俊治

明治二十年代以降の短編小説を中心として読解しながら、テキストを読むとはどういうことかを考究する。ただし、教場では必ず指定された作品を読んでくることを条件とし、毎回アンケートに回答してもらうことになる。なお、具体的な作品名は学期最初の時間に指示する。

西洋文学思潮

村山知恵

ここ数年世界は大きく揺れ動き、私達ももはや日本の事だけ考える訳にはいなくなりました。こんな時だからこそ、世界の歴史を、様々な世界の名作をじっくりと読み考えることによって把握できていけたら、良いのではないかと思います。短期間ではありますが、3～4作品を時代背景などを考えながら一緒に読み味わい、私達の未来への考え方をまとめて行きたいと思います。

漢文学

東喜望

中国古典文学の代表的な作品を精読し、作品の背景にある中国の思想や文化、歴史などについても理解を深める。

作品は、日本の文学にも影響を及ぼした散文文学をとりあげるが、まず下記を精読することからはじめたい。作品に関連する中国の自然や風土、地理や風

俗を映像で紹介する。

鄭還古『杜子春伝』・瞿佑『剪灯新話』

### 現代言語生活論

谷口勝三

言語表現の特質を、絵画表現などとの比較において考えていく。さらに、日常言語・文学言語・理論言語のそれぞれの特徴を、実際に文章表現をすることによって、考えていく。また時間が許せば、小説・詩などを言語の美の問題としてとらえていく方法論について講義する。

### 書道 I

神野雄二

書写教育の意義・目標・内容を理解し、基本的な指導方法を学ぶ。

書写教育で基礎となる書体は、楷書体・行書体・仮名である。これらを、正しく、整えて、速く、美しく書ける能力を身に付けるべく努力する。そのために、理論と実技両面から書写教育を考える。

講義では、中国と日本の名跡や名家の書を可能なかぎり学習したい。また単元を設定し、学習指導案を作成する。

### 書道 II

小峯恭子

書写を中心とする。日本と中国の数多い古典の中から代表的なものをとりあげ、これを参考にしながら漢字と仮名の実習（書写）を行う。まず写実的臨書を、次いで応用の創作を行う。また硬筆（ペン字）も実習する。

### 《歴史系科目》

#### 日本中世史

西村汎子

日本の中世とは、古代の律令社会とも近世の封建社会ともちがうどんな特色を持った社会だったかを考える。当時の支配者たちは、草深い地方や都に住む民衆たちの変化を基礎にどのような支配体制をつくったのか、また、民衆たちは何を考え、どんな生活や文化を生み出し、どうやって自分たちの生活を守っていったのか、できる限り探ってゆきたい。

#### 日本近世史

西脇康

日本の近世とは、おおむね江戸時代をいう。はじめに近世社会の枠組みについて概説し、つぎに中核身分であった百姓の生活諸相をとりあげ、村共同体・家・家族という諸関係の特質について考えてみたい。ふつう近世では個人の自由がきわめて制約されていたといわれるが、民衆レベルでは自由な恋愛や対等

な夫婦関係がありえた。そうした具体的な個人男女の行動事例をふんだんに紹介することで、近世の多様な民衆像にせまりたい。

#### 日本近現代史

平賀明彦

明治維新以来の日本の「近代化」過程を、明治憲法の枠組みや大正デモクラシー状況、あるいは戦争と民衆などの問題を通して明らかにしていく。また、それらの帰結としての敗戦を契機に出発した戦後社会の特質についても考察を加え、現代社会を理解するためのてがかりをさぐっていききたい。資料、参考文献についてはそのつど紹介する。

#### 日本文化史

高橋秀雄

東洋の最東端に位置し、島国としての独立性を保ってきた地理的条件の中で、東洋文化を独自に発酵させてきた日本文化は、また、十六世紀半ばからの西洋文化との接触、さらに、明治維新以降における欧風文化の流入により、東西文化の集積回路としての重要な地位を占めることになっている。

この講座では、諸外国との交流の接点を切り口に、外国文化と日本文化の比較の中で、日本文化の特質を明らかにする。  
副題「文化の集積回路—日本—」

#### 日本女性史

西村汎子

現在、女性の地位は高まったとは言え、女性が真に人間らしくその力を発揮して生きるには、なお多くの障害がある。そこで、女性の生活を歴史的にふり返ってみて将来の展望をつかむことは重要であろう。その場合、労働のあり方・財産権・婚姻形態・家族関係・道徳観などに注目し、その中でたくましく生きた女性たちの生涯についても、できる限りとり上げてみたい。

#### 東洋文化史

石川重雄

東アジア世界においては、古代より諸文化の交流がみられ、そこには融合・摩擦などの現象も生じた。とりわけ中国は、長きタイム・スパンのもと、文化・情報の発信地として重きをなしてきた。本講義では、中国文化——とくに仏教受容過程の諸問題について深く考えてみたい。具体的には、仏教的世界観と中国、皇帝（王権）と仏教、民衆と仏教、女性と仏教、仏教と他の神々、「トボス」への巡礼、などのテーマを設ける予定である。

## 東洋美術史

神道明子

日本の美術に深い影響を与えた古代中国美術について、殷・周より唐代までを講義する。前半は近年中国で出土した墳墓の壁画や副葬品等の美術を主とし、後半は敦煌などに今も残る石窟寺院の仏教美術を中心に話を進めてゆく。スライドを使用し、できるだけ視覚にうったえる授業にしたい。

## 西洋史

土浪博

ヨーロッパ中世社会に関する問題をいくつかとりあげて論じる予定(ヨーロッパの成立、教会と国家、実力と秩序、農村と都市など)。前提知識は特に必要ないが、通史的な話は必要最小限度しかやらないつもりなので、心配な人は、世界史の概説書の西洋中世に関する部分をあらかじめ読んでおくとよい。高校の教科書・参考書でも可。テキストなし。

## 〈国際系科目〉

### 英書講読Ⅱ

田中安行

いろんなジャンルの文学作品や時事英語に触れて、英文の流れを的確に掴む読み方、理解の仕方を学んでいく。また、日本の文学作品や文化を英語で紹介する時、どのような点が変化していくのか、比較文化、比較文学的な視点でも読んでいきたい。広い目を養えるような講読の時間にしていきたい。学生による発表を重視するので予習や準備を積極的に行ってほしい。

### 英書講読Ⅱ

寺地功次

前年の学習を基礎に、より高度な英文を読みこなせるような総合的読解力を身につけることを目的とする。最初は平易な題材を扱うが、本だけでなく、雑誌や新聞なども含め、様々な内容、難しさの英文も取り上げていく予定である。

辞書を丹念に引くことはもちろん、幅広い知識、想像力を駆使して英文を読めるようになってもらいたい。

### 英語演習A

寺地功次

日常会話やごくふつうの書き言葉において使われる基礎的な構文・表現を習得し、応用できる力を身につけることを目的とする。受講者の人数にもよるが、文法・作文的な要素だけでなく、速読・多読的な内容も取り入れて、総合的な読解力、表現力を養うことができるような授業としたい。

できれば、単語、イディオム、慣用表現の勉強も取り入れたいと考えている。

## 英語演習B

中島好伸

未知な英語の文章をその場で読んで理解できるようにし、短時間の内に多くの英文を読み込むことで英語の情報をより多く身につけることを目的とする。まずは独習によりある程度の語彙を身につけてもらい、授業の中では、毎回新しい英語の文章を読む。語彙の少ないものから多いものへ、短いものから長いものへ発展させながら、エッセイや新聞の記事、ショート・ショート等を読んでゆく予定。

## 英会話Ⅱ

オーコーチ・リサ

Further development of conversational english through drama will be emphasized. Students will be encouraged to come up with their own unique ideas for skits as well.

## 英会話Ⅱ

スワン、ウィリアム ローレンス

このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していき、いろいろな分野で使われる言葉の領域も広げて行く。このクラスでは英語を使つてのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。

成績の基準はクラスでどれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験(ドラマ作り)をもとにつける。

## 独書講読

正路妙子

ドイツ語圏の文化に対する興味を抱いて頂けるような、また、ドイツ語で読む楽しさを味わえるような作品を中心に、ドイツ的な思考法とその表現様式を辿っていきます。

更に、語形変化など形態的な訓練のできる練習問題や作文をやることで、ドイツ語による表現力を養っていききたいと考えています。

## 仏書講読

村山知恵

一年生の時に学んだ初級の文法を復習しながら、サン・テクチュベリの「星の王子さま」をじっくりと読み、楽しみながら、そこに溢れるフランスの文化、思想、歴史と一緒に考えていきたいと思っています。

## アジア・アフリカ文化

三 富 正 隆

異質な文化、歴史を有する地域の地誌について認識を深めることは、単にその地域の特質と歴史への知識を得ることにとどまらず、それまで我々が持っていた価値観を揺がし、「文化相対主義」の視座を育ませるきっかけともなる。そこで本講は、近年関心を集めつつあるが、あまり知られることの少ないサハラ以南のアフリカをとりあげ、その文化や社会の特色について概観していくことにする。

## 比較文化論

早 川 紀 代

人間の性はもっとも個人的なものであるにもかかわらず、宗教や国の政策、科学の発展によって規制されてきました。とくに女性の性は規制を強くうけました。今年度は優生学の展開と人間の性、女性の性の関係、レイプなど強制的な性をとりあげてみたいと思います。現代は人間の性のあり方が大きく変わろうとしている時代です。性の問題をまっすぐみつめる機会にしたいと思います。(主として講義)

## 英米文学

中 島 好 伸

英米文学の歴史と背景を時代に即して概説する。とくに重要な作家については、具体的に作品を取り上げ、文学研究の方法論を応用しながら作品解釈を試みたい。もちろん文学研究は作品を読まなければ始まらない。したがって多くの英米文学作品を読んでもらう。評価はレポート(二回)による。

## 国際関係論

平 井 文 子

中東をめぐる国際関係を学びます。中東とは、東はアフガニスタンから西はモーリタニアに至る広大な地域を指しますが、そこには古くから多様な民族と多様な文化が息づいています。今日の中東は、戦争と平和の問題、民族問題、宗教問題、石油問題等現代世界がかかえる深刻な諸問題と深くかかわっています。今年、①パレスチナ問題、②イスラム原理主義の2つを軸に、歴史的視点を重視しながら講義をすすめます。

## 国際経済論

杉 崎 京 太

今日の日本をとりまく国際的経済環境について考えていきたいと思います。資料・ビデオなども用いながら、議論もしていきたいと思ひます。

### 1. 国際貿易・国際金融の基礎

2. 日米欧三極経済摩擦めぐって
3. 東アジアにおける経済発展
4. 多国籍企業と世界経済
5. 南北問題と世界経済

## 欧米事情

寺 地 功 次

政治とはなにか、集団とはなにか、国家とはなにか、国内政治と国際政治はどのように違うか、民主主義とはなにか、といったことを議論しながら、社会における制度や思想の問題を考えたい。できるかぎり、各国の事情や政治制度についても具体的に紹介しながら議論したいと考えている。

## 《社会系科目》

### 文化人類学

白 井 和 子

文化人類学の目的の一つには、自分の文化とは異なる文化を理解して、自分の文化に翻訳することがあります。またあらゆる社会に共通する点や社会によって異なる点を探求することも、目的の一つです。講義では、たとえば世界各地の家族のあり方などを取り上げて、人間の生活の多様性また普遍性についてこれまでの文化人類学の研究成果をもとに検討していきたい。人間とその生活に興味のある方、積極的に参加してください。

### 社会思想史

針 谷 寛

西欧近代社会の特質を考えてゆく手がかりとして、ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷をたどり、また西欧の「都市市民」像についても検討する。理論的には、カント、ヘーゲルなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的にとりあげる予定である。

テキストは使用しない。時おりプリントを配布する。参考文献は講義のなかで紹介する。

### 国際関係論

平 井 文 子

中東をめぐる国際関係を学びます。中東とは、東はアフガニスタンから西はモーリタニアに至る広大な地域を指しますが、そこには古くから多様な民族と多様な文化が息づいています。今日の中東は、戦争と平和の問題、民族問題、宗教問題、石油問題等現代世界がかかえる深刻な諸問題と深くかかわっています。今年、①パレスチナ問題、②イスラム原理主義の2つを軸に、歴史的視点を重視しながら講義をすすめます。

## 生活科学

富永静枝

最近家庭をとりまく状況は大きく変化した。生活水準は上昇し、国民の9割が自分の生活を「中流」と意識するほど物質的には豊かな社会になった。反面自然破壊や食品公害など生活環境は悪化し、単身赴任や離婚の増大など家庭をめぐる状況も厳しさを増している。そこで本講では現代の家族・家庭生活が抱えている様々な問題を取り上げ、真に豊かな生活とは何かを追求してみたい。

## 現代女性論

富永静枝

近年女性をとりまく社会的状況は大きく変化し、女性の生き方も多様化している。男女雇用機会均等法や育児休業も施行され、女性の社会進出も大きく進展した。しかしながら伝統的な性役割分業の社会システムのもとでの女性の社会進出は、多くの問題点を生み出している。本講ではこのような社会的状況の変化を正しく認識し、これからの家族・家庭のあり方や、女子労働をめぐる諸問題についてふれ、これからの望ましい女性の生き方について考える。

## 《自然科学科目》

### 自然科学概論

柳下登

受講生の感想は『自然科学概論という自然に関する講義は今回初めて受けました。自然や生命、生物についての発生、発展過程も、今回の講義と教科書により、詳しく知る事が出来たと思います。進化の道を魚を例にした事で二つに分けられる事が理解し易くなった。脊椎動物の繁殖様式の進化の特徴や土は生きている、牛の餌の事など、身近な事が多かったので関心も持ち易く講義を受けられたと思います』であった。今年もこんな講義を試みたい。

### 自然科学史

柳下登

かつて人間は自然に従属していたが、それから独立し、それを支配する関係を成立させてきた。その過程で、人間は自然を知り、自己を変革し、より人間らしい人間になってきた。そして今日では自然との調和を模索している。この講義は今までの科学史とはちがって、人間と自然との関係の史的考察に視点をおき、自然との調和への光明を見出したい。内容は、人間と道具の発見、人間と火の発見、人間と農耕の起り、人間と地動説、人間とニュートン力学、人間と「種の起源」、人間と生命工学（遺伝子工学）など。なお、できれば世界最古の紙「パピルス」紙の製作を実習としておこなう。

## 科学技術論

高田峰雄

過去45年間で日本の経済発展は世界史上の「奇蹟」といわれているが、これを可能にした有力な要因の一つとして技術革新をあげることができよう。

「奇蹟」は確かに輝かしいものであったが、それは同時に暗部をも伴って今日に至っている。このようななかで、現在進行中の技術革新について、その明暗の両側面から検討してみるのも意味があろう。

## 《外国語科目》（文学コース・社会コース開講科目）

### 英書講読

藤田久美子・ハベル清子・

大佛義信・窪田美穂子

簡潔で、わかり易い現代英語で書かれた随筆、評論、或いは文学作品を精読する。語いをふやし、読解力を養いたい。それには徹底的に辞書をひく習慣を身につけ、辞書の使い方を体得して欲しい。

テキストは未定。

### 英会話

オーコーチ、リサ

All students are to actively participate in various conversational activities based on drama skits. Emphasis is on self expression and not on reading or writing.

### 英会話

スワン、ウィリアム ローレンス

このクラスでは、学生がすでに習った文法、言葉の知識を土台にして会話が進められるように指導していき、いろいろな分野で使われる言葉の領域も広げて行く。このクラスでは英語を使ってのコミュニケーションに重点をおき、文法にはそれほど力点を置かない。話したり、聞いたりする力を身に付けさせるために、対話の練習、スキット作り、テープの聞き取りをする。

成績の基準はクラスでどれだけ積極的に参加するか、中間と期末試験（ドラマ作り）をもとにつける。

### 独書講読

正路妙子

ドイツ語圏の文化に対する興味を抱いて頂けるような、また、ドイツ語で読む楽しさを味わえるような作品を中心に、ドイツ的な思考法とその表現様式を辿っていきます。

更に、語形変化など形態的な訓練のできる練習問題や作文をやることで、ドイツ語による表現力を養っていきたくと考えています。

仏書講読

村山知恵

一年生の時に学んだ初級の文法を復習しながら、サン・テクチュベリの「星の王子さま」をじっくりと読み、楽しみながら、そこに溢れるフランスの文化、思想、歴史と一緒に考えていきたいと思ひます。

《教養演習Ⅱ》(ゼミナール)

専任教員

神道明子・津田洋行

(必) 通年

1年次の「教養演習Ⅰ」の学習を踏まえて、これをさらに発展させた研究を行なう。また、前期には、各ゼミごとに数日にわたる「学外演習」を行なう。これは、ゼミのテーマに沿って実地調査や見学を行なうもので、研究の深化・正確化を図るためである。

○「平家物語」

東喜望

昨年につづき、木曾義仲の事蹟を追跡し、その生涯をたどりながら12世紀末の戦乱「源平の合戦」の意義を考察する。

義仲の次は、安徳天皇をとりあげる。

○「源氏物語」(Ⅱ)

久保木壽子

前年に引き続き『源氏物語』を取りあげる。これまでのところから、この作品の大よその構造は把握しえたものと思う。(Ⅱ)では、昔物語的な構想を脱し、人物相互の関係から必然的に作品が展開していくと言われる、第二部若菜以降を重点的に読んでいく。前年以上に、課題をこなす必要があるし、その中で自分なりにこの作品に対する問題意識を深めていって欲しい。

○現代女性論(Ⅱ)―女性と職業、家族・家庭―

富永静枝

1年次に引き続き家族・家庭のあり方について学習すると同時に、2年次では特に女性と職業について学習を深めます。現代女性のおかれている状況を正しく認識し、問題解決の方向を探るために調査や見学なども行います。

○日本女性史(Ⅱ)

西村汎子

前年度に引き続き、『日本女性の歴史』(角川書店)を読みすすめるとともに、現代まで続く日本の家族関係の問題点や現代の課題などを明らかにしていきたい。

○英米文学の中の子どもⅡ

田中安行

1年次からの作品研究をさらに続けていく。このゼミは英文での作品研究を原則とするのでつねに原文を読み込んで作品そのものから新たな問題を発見して行ってほしい。同時に、作者の生涯や他の作品、作品の背景、時代背景、社会状況等も幅広く調べて、その作家や時代の全体像の中での作品の位置付けを明らかにする。ゼミの中で何度かレポートをして、討論しすぐれた卒業レポートにまとめていきたい。

○日本近現代史(Ⅱ)

平賀明彦

1年次で修得した日本の近・現代に関する基本的な理解を基礎にして、個々のテーマをよりクリアーにしていくための作業を蓄積していく。後半では、ゼミ員それぞれが個別のテーマについて報告を積み重ね、相互に批判しあう中で問題点を煮詰めていく作業を行うことが課題となる。

○「アメリカ合衆国の政治と外交Ⅱ」

寺地功次

前年度より継続して、第2次世界大戦後のアメリカの対外関係について学ぶ。テキストを読む以外に、各自、興味のあるテーマを決めて報告してもらう。

さらに今年度は、日米関係、アメリカ政治・社会における諸問題についても考えてゆきたい。

○アメリカ文学研究Ⅱ

中島好伸

一年で学んだことを基礎にして、今年度はひとりの黒人作家に焦点を絞ってみたい。テキストに Richard Wright の *Native Son* (1940) を取り上げ、細かく読みすすめながらさまざまな角度から分析を試みよう。卒業レポートに向けて文学研究の方法論を身につけてほしい。

○渡来文化と奈良時代の美術

神道明子

飛鳥・奈良時代の美術を中心に、図版スライド等を活用し、具体的に各建築、作品等を検討するとともに、その時代背景、当時の国際状況を考える作業を進めてゆく。また前期はゼミ旅行を前提にしてできるだけ深い理解を目標とする。

『校刊美術史料』寺院編

『東大寺要録』

## ○近代日本の文学

津田 洋行

明治・大正・昭和期（戦前）の文学を、小説を中心に論じていく。文学を研究するには、何よりも心をこめて読むことが第一である。次に読んだ作品について考え、語ること。そして書くこと。

卒業論文で取り扱う作家の作品となるべく重なるように配慮・選択したい。具体的には、開講時に受講生の意向を聞いて決定する。

## 《卒業レポート》

(必) 2年

専任教員

神道 明子・津田 洋行

学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることがのぞましい。

執筆に先だちガイダンスを行ない、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。

## 教養科教職科目

1年次・2年次

教育原理

黒田 瑛

初めに教育思想の歴史をたどり人間の発達と社会の観点から教育の目的と方法の原理を明らかにする。次に教育の行われる場（家庭、学校、社会）をとりあげ、それぞれの特徴と、対応する主な教育内容について考える。わが国の現行の教育制度と行政について述べるとともに、今日すすめられている日本及び他の国々の教育改革について内容・方法及び制度にわたって検討し、最後に教育評価の問題を考察する。

教育心理

林 潔

人格、教授法、教育評価という教育心理学全般について紹介します。

あわせて、最近の教育の場のいくつかの問題を、心理学の問題としてとらえ、討議して行きたいと思います。

道徳教育の研究

黒田 瑛

「道徳」とは何かの考察からはじめ、道徳は、一体、教えられるのか、教えられるとすると、それはどういうことなのかについて考える。次に、子どもの道徳性の発達について、その心理発達の面と現代社会の特性にかかわる面とから考え、今日の中学校における道徳教育の目標、内容、指導計画などについて学ぶ。また、修身教育及び第2次大戦後の我が国の道徳教育の歴史とのかかわりで、現在の学校における道徳教育の諸問題をみることにする。

特別活動の研究

黒田 瑛

教育課程全体の中での特別活動の位置と意義を明らかにし、各教科と道徳および生徒指導と特別活動の関連について考える。次に、特別活動の目標と内容および、それらに即した指導計画の作成と展開について述べる。

生徒指導の研究

小 貫 栄

学校制度のなかで中学校はどんな位置を占めているか。また中学生の「心と体」はいかなる成長発達の経過をとるのか等をふまえ、主に中学校における「生徒指導」を研究の対象とする。

さらに生徒指導とかかわる「進路指導」「教育相談」の分野についても研究内容とし、「望ましい中学教師像とは何か」についての探求でしめくくる。

## 国語科教育法

丸尾 寿郎

国語を教えるということは、どういうことか。国語教育の現在の問題点を検討整理しながら、考えてみる。「学習指導要領」や中学校教科書の教材を取り上げたりしながら、わかるように教えるには、一それを中心に追求していく。教える側の教師像、教わる側の生徒がほんとうに求めているものは、なにか。教育という大きな視点から、国語科教育のあるべき姿を考え、実際に役立つ教育方法を、とらえていこうと思う。

## 教育実習

久保木 壽子

教職諸科目の学習の成果を、実習を通じて実践的に確認し、体得していくのが、「教育実習」である。実習校では、指導教諭他の指導・助言を受けるが、主体的に教材研究・教案作成・授業及び生徒指導に取り組む必要がある。責任と自覚の下に臨んで欲しい。

実習の詳細については、事前にオリエンテーションを行う。

## 教養科博物館科目

1年次・2年次

### 博物館学

柘植 信行

近年の博物館ブームのなかで、各地に地域博物館、美術館、水族館などの開設が相次いでいます。また生涯学習の展開という点からも、博物館の重要性が高まっています。ますます多様化する現在の博物館の現状を学ぶことから、博物館の歴史や理念、その仕事や学芸員の役割などについて考えていきます。

テキストとして、伊藤寿朗著『市民のなかの博物館』（吉川弘文館）を使用します。

### 教育原理

黒田 瑛

初めに教育思想の歴史をたどり人間の発達と社会の観点から教育の目的と方法の原理を明らかにする。次に教育の行われる場（家庭、学校、社会）をとりあげ、それぞれの特徴と、対応する主な教育内容について考える。わが国の現行の教育制度と行政について述べるとともに、今日すすめられている日本及び他の国々の教育改革について内容・方法及び制度にわたって検討し、最後に教育評価の問題を考察する。

### 社会教育概論

藤田 博

社会教育とは何か、生涯教育の構想との関係でその本質を明らかにしたい。とくに、社会教育がこれまでどのような歴史をたどってきたかに重点をおきながら、社会教育の現状と課題を学習する。参考書等は教室において指示する。

### 視聴覚教育

南 利明

視聴覚的方法は、コミュニケーション技術の発達とともに多彩となっていった。講義ではまず写真・映画・蓄音機・ラジオ・テレビさらにハイビジョン、コンピューターグラフィックスなどニューメディアにいたるまでの視聴覚史を学習する。そして視聴覚理論の理解促進をはかるために博物館・美術館などの事例を参考にしながら展示解説文をはじめスライド・映画・ビデオテープ・ビデオディスクなど各視聴覚資料の特性、利用法などについて講義する。



## 博物館実習

高橋 秀雄・平賀 明彦・上野 光子

学芸員にとって必要な知識、技術の修得のための実習を行います。1年次では主として、美術品の理解のために美術館見学等を行い、実技として、レプリカ・拓本・裏打・写真撮影・ポスター作成・軸物・茶道具・巻物等の取り扱いを実習します。2年次には、美術館・博物館等の見学実習と、それまで学んだことの集大成として館務実習を行います。

## 専攻科保育専攻専門教育科目

### 〈基礎科目〉

#### 人間論

田中未来

まず、人間を、生物として、動物として、さらに人間として捉えるための視点をあきらかにし、人間の自由と主体性、および価値の問題を考える。ついで、さまざまな人間観を手がかりにして、自らの人間観を確立するために、文学作品や哲学的な文献の一部を読み、または自分の実生活の体験を話し合っ、それをテーマに討議を行う。そして現代において、人間性を実現するための、保育、教育の役割を論ずる。

テキストは「教育と福祉のための人間論」田中未来（川島書店）他にプリントの教材

### 〈共通科目A〉

#### 現代保育論

田中未来

- 1) 現代保育の理念
- 2) 現代の保育の中での検討すべき課題（実習経験などを通して）
- 3) 現代の保育における保育者の資質と役割
  - 保育者の資質
  - 保育者と子ども
  - 保育者と職場のチーム・ワーク
- 4) これからの保育の課題と展望

#### 保育計画論

村田和子・米山千恵

保育計画を論じる基盤として、子ども観・人間観・保育観等について考え確かめ合う。今まで身につけた保育に対する意識を十分活用しながら、モデル園の保育計画をもとに、現場の実践にもふれ、理論と実践の統一をめざす。積極的な討議の展開を組みこみながら、保育計画とは何かを学習し、実践の場で具体的計画の立案が構想できるようにしていきたい。担当者の分担は、前半・後半に分け、前半を米山千恵が保育所における保育計画、後半を村田和子が幼稚園における保育計画、についてそれぞれ担当する。

#### 保育環境論

民秋言

子どもは、日々具体的な環境の中で生き、成長しています。そういう意味では、子どもは環境と共にある存在だということができます。この講義ではそうしたことをふまえて、子どもにとって環境とは何なのかということを考え、具

体的に地域や園の保育環境の在り方を探ってゆきたいと思います。

必要となる文献、資料については講義の中で紹介する。

### 保育人間関係論

藤野敬子

保育の場は、子どもの親たち、そして保育者仲間との人間関係の場でもある。それが崩れると、子どもの成長・発達も阻害されがちである。特に相手が親の場合は尚更である。保育者は子どもの親から相談を受けたり、親に対する希望も持つが、その関係に苦勞するのが現状である。本講では、相談の受け方の実践的訓練を通して自己理解を深め、信頼関係を築くための保育参加その他の方法を学び、良き人間関係の在り様を探っていききたい。

### 保育研究法

小松歩

保育の基本は、子どもをよく見つめ、子どもの実態に即して自らの保育を作り出していくことにある。そのため保育者は、日々の保育活動を整理し、その活動の子どもにとっての意味を跡づけたり、別角度から見直し、新たな仮説を立て実践し直すといった方法を確立する必要がある。本講では、保育実践における課題や保育をめぐる問題を的確に把握し、整理分析し、それを保育の場に活かす方法とともに文献研究の方法について講じる。

### 保育問題特講

八木 紘一郎

今日、ここ数十年の間の現代社会のさまざまな変容に伴って、保育に関連する問題や課題についても複雑化し、多様化が進行している。この科目は、そうした社会的、時代的特徴を呈してあらわれる保育に関する多様な現代的側面の問題課題を扱うことによって保育理解を多角的に深めることを意図している。取り上げるテーマは、メディア社会における子どもと保育などである。

### 《共通科目B》

#### あそび分析法

小松歩

子どもの生活は「あそび」そのものであると言ってもよい。子どもは遊びを通して外界の物や他人、自分を認識し発達していく。本来遊びは自発的な活動であるが、保育者はその遊びを組織し発展させ、子どもの発達を援助する役割を担う。そのため子どもの発達の種々の側面を遊びを通して捉え、その子どもの状態に適した遊びを組織する力量が求められる。本講では、遊びの意義や種類、遊びを観察する視点について具体例を交えて講じる。

### 集団保育論

本吉圓子

同年齢の子ども、又は異年齢の集団や保育者を核として、ある限られた空間においていきいきと生活する、という意味での集団的保育を考察したい。子ども同士の関係および保育環境と子どもとの関係を軸として、さらに保育者がその関係をどのように援助するのかを考える。

### 小児医学

山登淳伍

小児保健では正常の発育、発達および栄養について理解させ、ごくありふれた常識、例えば鼻づまり、下痢とミルク、栄養と知能の発達などについて解説したい。

小児疾患では特に集団生活の場における乳幼児の伝染性疾患の理解に力点をおきたい。また母子保健行政の現状、小児の事故と安全対策、小児保健の統計、身体障害児対策などの概要を解説し、保健医療従事者と保育専門職との連携について理解を求める。

### 神経生理学

工藤行夫

人間の行動にとって、脳はどのような役割を果たしているのか。こころと脳とはどのような関係にあるのか。神経系、特に中枢神経系（脳）の基礎的な構造、機能を理解したうえで、精神医学的な知見も加え、脳の働きを共に考える時間としたい。

### 《乳児保育関係科目》

#### 生活習慣習得論

伊志嶺美津子・北 郁子

①乳幼児の生活習慣を習得していく過程とその内容について以下の視点から講ずる。子どもの全体像の発育を生活を通して概観する。②日常生活の、もっとも基本となる食事、睡眠、排泄を中心に自立するまでの習慣形成を胎児期、乳児期、幼児期を通して生理学、医学、栄養学、心理学、社会学、保育学の立場でとらえ、保育のあり方を考える。③実習を通して、乳幼児の実態をとらえレポートする。なお、開講にあたっては、前半を全般的な生活習慣について講じ、後半は食生活習慣について講ずる。

#### 乳児保育論Ⅰ（母子関係）

今泉岳雄

母子関係論と言うと、母子の二人だけに焦点をあてた研究も多い。しかし、実際には、母子を取り囲む様々な要因が、両者の関係を形成する過程に影響を

与えていることに気づく。

夫婦を中心とした家族の関係、母親自身の母性的な体験、妊娠・出産を受け入れる母親の心の準備状態、子供が未熟児や障害児であるための初期の母子分離の問題、兄弟出現による母子関係の変容など、多角的に母子関係を考える場にした。

#### 乳児保育論Ⅱ（探索活動）

戸田 須恵子

乳幼児の発達を通して、探索行動の発達を学習し、探索活動を促進する要因について考え、保育者としてどのようなかかわりを持つべきかを考えてゆく。時々ビデオ教材を使用し、現実の乳幼児の姿を認識し、知識を深める。

#### 乳児保育論Ⅲ（信号・言葉）

佐々 加代子

乳幼児の発達助成者としての視点とかかわり方に焦点を当てた構成で、演習をふまえて論を展開する。観察者、実践者として、1人から数名、集団へと広がりをつける。信号行動系の観察表記から瞬時に判断することと、行動への流れを目指している。受講生自身がかかわり方の傾向（特質、問題点）を見出すことを期待しており、その問題解決への援助をする。対象乳幼児は障害児を含めて検討する。

#### 乳児保育論Ⅳ（表象・想像）

戸田 須恵子

乳児期の表象・想像の発達について、理論をふまえながら、その実際の発達過程を学習し、その指導方法・計画について研究する。具体的には、次のとおりである。①表象・想像活動の発達過程の学習、②発達に沿った指導方法の研究、③表象・想像を諸側面（遊び・ことば・描画）からの検討、及び指導、④総合的指導計画と指導法。

### 《幼児保育関係科目》

#### 幼児の保育構造論

岡本 富郎

まず、幼稚園、保育所の現状と子どもの現状について講ずる。その後、保育思想家の保育観、子ども観について紹介し、次いで、戦後の保育内容の変遷と、保育構造の必要性及びそれらのことと関連して幼稚園、保育所における保育のあり方を構造論的に講ずる。その際、様々な保育構造論を共に検討する。

#### 保育内容研究Ⅰ（自然認識）

近藤 正樹

自然事象を対象として知的なインプットの教育法を検討する機会として設定してある。認識と認知との違い・認知の生理学・認知の心理学・イメージのふくらみ方・イメージの整理編集について講義をすすめる。テキストは中沢和子著「幼児の科学教育」（国土社）。

#### 保育内容研究Ⅱ（社会認識）

民 秋 言

子どもの社会的成長（社会的な育ち）を考えると、その過程での課題として、社会性の習得とともに社会事象の認識は欠かせない。子どもがそれを取りまく社会事象（社会的環境）から働きかけられて、また、それに働きかけていくことによって成り立っていることをふまえるなら、子どもはその社会事象（の社会的なしくみやたらしき）をきちんと理解することは大切である。と同時に、その社会事象の存在が自分たちの生活にとってどんな意味をもつかを子どもが考えることも重要である。本講は、この二つのポイントから子どもの認識活動を検討してみるものである。

必要な文献や資料は講義の中で紹介する。

#### 保育内容研究Ⅲ（表現①）

志 摩 弘

この時間では、子どもがみずから展開する「表現活動」音声、身ぶり、表情等を通しての基本的「表現」から「もの」を媒介とした「表現」へとすすみ、それにかかわる子どもの発達特徴などもふまえて、さらに保育者自身の「表現」の問題とあわせて、創造的な「表現」の可能性をさぐってみたい。具体的には「みずから演ずる劇」や「人形劇」を演じつつ習得する方法をとることになる。

#### 保育内容研究Ⅳ（表現②）

八 木 絃一郎

乳幼児がさまざまな物素材を操作して、個人及び共同して多様な造形表現力を習得し、なおかつ拡充していくための活動内容とそのための援助法に関する知識・技能を高めることを学習目的とする。特に、造形表現の系統的順次的な活動内容と、遊びを自主的にする活動との相互関連を持たせた構造的な計画及び実践方法について重点をおく。

### 保育内容研究V (表現③)

小林 美実

子どもは、生得的に音楽に対する嗜好を表し、感情等を音楽的に表現するが、そうした生得的活動を、音、リズム、メロディ等のいわゆる音楽の要素、構造を有した表現へと発展させていくための知識・技能を学習させる。

### 保育内容研究VI (表現④)

若松 美恵子

乳幼児の身体運動を中心とした表現の発達及び幼児の身体表現力の発達をふまえ、保育者は子どもとの関わりの中で子どもたちが、①感受性が豊かになる、②豊かに表現する、③表現を楽しむ、にはどのような援助、働きかけをすべきか、その指導方法について演習をふまえて論を進める。

### 保育内容研究IV (総合活動)

八木絃一郎・前川 吉彦

保育内容・保育方法論としての「総合活動(学習)」について、合科学習及び領域別活動(教科別学習)との関係や構造と結びつけて理解することを主目的にする。また複数の種類の「総合活動(学習)」事例のシュミレーション的な指導法研究の演習を通して「総合活動」の組織化について実践的且つ「総合的」に理解する。担当者の分担は、前半・後半に分け、前半を八木絃一郎が総合・合科学習及び領域別活動(教科別学習)の理論的側面、後半を前川吉彦が主として幼稚園における総合活動の実践的側面についてそれぞれ担当する。

## ＜＜障害児保育関係科目＞＞

### 統合保育論

村田保太郎・窪寺 功

統合保育の在り方及び現在の幼稚園・保育園における障害児の受け入れ方、並びにクラス集団及び職員間の関係の在り方等について具体的な問題を通し、講義・演習等によって考究する。

また、視聴覚教材等を用いて、障害児に対する基本的な理念及び基礎的理解を深め、統合保育論について具体的・実証的な立場から追求する。

後半の一部で統合保育を実施している園等を訪問し、統合保育の実践についての経験を深める。ここでの観察・実習で得たものから障害児の指導や療育の在り方、システムの在り方、保護者に対する援助等の課題を追求し、実践に備える。

### 精神薄弱治療論

山田 寿子

現在、多数の保育機関で統合保育が行われている。障害児を健常児とともに保育することの意義や重要性は理解されつつあるが、現場の保育者のためらい・苦労は未だ大きい。また、障害児を健常児と混合して保育するだけで、障害に合った適切な保育がなされなければ保育の効果はない。本講義では、精神発達遅滞を中心に障害児及び障害のとらえ方を整理し、精神発達遅滞児の保育・指導方法について具体的に述べる。

### 運動療育論

南雲 直二

1. 障害の基本概念を理解する。例えば、疾病と障害の区別、障害の3層構造。
2. 脳性マヒ、筋ジストロフィー、脊髄損傷など代表的な運動障害を取りあげ、原因、症状、予後などについての基礎的な知識を習得する。
3. 各種の療育法について、背景の理論の理解と実際の理解を得る。

### 言語療法論

高平 嘉明

言語療法(治療、臨床)の対象児・者は、「言語」に何らかの問題を持つ人たちである。問題は発達、発音、流暢性や失語などに分類できるが、MD、CP、口蓋裂、ろう、難聴、情緒などに伴うものがある。療法論は、臨床過程にみる対象者と臨床者のとらえ方から原因論、診断、治療までを含んでいるので、それぞれの見方から治療までを紹介する。事例の検討も行なう。対象児・者にかかわる保育者への留意事項をまとめて提言する。

### 自閉症治療論

伊藤 英夫

自閉症は現在のところ、特異的な発達障害の一つとされているが、その原因などはまだ詳しく解明されていない。そこで、まず自閉症についての基本的理解を深めることから始める。現在行われている、早期療育プログラムや、新しい言語指導プログラム、海外での療育システム等、ビデオなどを用いて紹介する。適宜、自閉症児の統合保育や、通園施設での療育場面等、見学も行う予定である。

### 情緒障害治療論

伊藤 英夫

情緒障害の概念と治療法の理論について学んだ後、実際の症例研究を基に、情緒障害児のプロフィール、情緒的混乱に陥った背景とプロセス、治療過程の実際等についてディスカッションなどを行い、理解を深める。可能ならば、実際の治療場面の見学も行いたい。

## 《修了研究演習》

### 修了研究演習

専任教員

学生各自がもつ研究課題にもとづいて、小人数グループを編成し、専任教員が修了研究演習を行なう。そこで専任教員の個別指導と、併せて、課題化を深める。また、学生の研究は、実習園での実習の中で、課題をさらに焦点化し、実際に即しながら課題を追求していくことが望まれる。なお、年度末には研究の成果を論文としてまとめ、さらに2月の修了研究発表会では口頭発表も行なうことになっている。

## 《専攻科実習》

### 専攻科実習

北 郁子・西ノ内多恵

前期実習は、毎週水曜日を、後期実習は、11月に2週間の集中実習を行う。

実習園は、専攻するコース（乳児・幼児・障害児）、または卒業研究テーマによって、保育所・乳児院・幼稚園・障害幼児通園施設等の中から選ぶ。専攻科実習の特徴は、講義と実習と演習を有機的に関連させ、理論と実践の統合をはかり、実践性を身につけることにある。本科と異なり、実習のテーマは学生自身が設定して実習の成果を挙げるよう主体性が求められる。

## 《社会福祉関係科目》

### 社会福祉制度政策論

都留民子

わが国の国民生活の実態を分析した上で、それに対する政策と制度の進展と現状を学習していく。児童、障害者、高齢者等の対象別の社会福祉サービスや援助実践の保証に加えて、住宅、医療、所得保障の体系についても理解を深めるよう進めていきたい。

### 社会福祉制度政策論

樽川典子

児童福祉、障害者福祉、老人福祉、公的扶助のあり方を左右する思想を考察する。具体的には、生存権思想、母性イデオロギー、自己決定権の思想と各種福祉制度・政策のしくみとの関係を検討し、福祉制度が逆機能を生じるシステム、処遇についてを分析する。授業では、毎回の個別課題とグループ討議を課する。

## 障害福祉論

尾島 豊

障害者問題の特質とその背景、障害の概念、障害者福祉に関わる法律や制度の概要、思想としてのノーマライゼーションなどについて理解を深め、専門援助者として関わる上で基本的な考え方と知識を学習する。

## 家族福祉論

浅井春夫

現代の家族はさまざまな生活障害を抱えており、その具体的な解決・援助策のひとつに家族福祉がある。現実の家族問題である高齢者や障害児・者の介護問題、児童養育問題、ひとり親家庭の問題、地域福祉のネットワークづくりなどを取りあげて、家族福祉のあり方と課題を考える。また在宅福祉のあり方を含めて家族福祉政策のあるべき方向についても考えていく。その際、ディベートなど学生参加の授業形態も採り入れていく。

## 社会福祉調査法

小林捷哉

社会福祉調査とは、社会福祉を対象とする社会調査の一種であり、福祉ニーズの把握と分析、そのニーズの解決のために提供される各種の社会福祉サービスや実践活動の効果測定や分析を行うことを主たる目的としている。

本講では、社会福祉調査の理論と技法について講義より基礎的な理解を深めるとともに、演習として、調査課題の設定→調査票の作成→調査票の配票・回収→集計・分析（コンピュータ処理を含む）という一連の調査の過程を体験させる。

## 社会福祉援助方法論

尾島 豊

社会福祉に固有な方法としてのソーシャルワーク実践の専門性（価値・知識・技術）を学ぶ。職業としての福祉援助の意味、援助関係の形成や援助展開を行う上で必要な専門的な基礎概念、生活を援助することの意味、他の援助活動の関連、援助活動の歴史などがテーマになる。

## 社会福祉特別演習

小林捷哉

この演習は「社会福祉実習」の事前・事後指導を組み入れつつ、受講生の社会福祉に関する関心、研究課題、実習で取り組みたい課題などを引き出しながらすすめていく。実習指導についてはオリエンテーション、実習内容の説明、実習テーマの設定、反省会などを行なう。このほかに社会福祉に関する理論的または実際的な問題について文献資料の講読、受講生各自の関心にもとづく調査研究報告と、それに関する討議、などをもとに演習をすすめる。

## 社会福祉実習

小林 捷哉

この実習は「社会福祉主事任用資格」取得希望者を対象に福祉事務所や児童相談所などの社会福祉専門行政機関、老人ホームや精神薄弱者援護施設などの社会福祉施設（原則として児童福祉施設を除く）で行なう。実習ではケースワーク、グループワークなどの援助技術を学ぶとともに、機関・施設を理解し、被援助者の生活を知ることがめざす。配属実習は7月下旬から8月上旬にかけての12日間を標準として実施し、実習の事前・事後指導は「社会福祉特別演習」の時間に実施する。

## 専攻科福祉専攻専門教育科目

### 〈基礎科目〉

#### 人間論

田中未来

まず、人間を、生物として、動物として、さらに人間として把えるための視点をあきらかにし、人間の自由と主体性、および価値の問題を考える。ついで、さまざまな人間観を手がかりにして、自らの人間観を確立するために、文学作品や哲学的な文献の一部を読み、または自分の実生活の体験を話しあって、それをテーマに討議を行う。そして、現代において、人間性を実現するための、保育、教育の役割を論ずる。

テキストは「教育と福祉のための人間論」田中未来（川島書店）他にプリントの教材

### 〈介護福祉専門科目〉

#### 老人福祉論

小林捷哉

講義の目標と内容は次のとおりである。1.老人福祉の社会的意義について理解する。2.高齢者の生活を知る。3.老人福祉の理念、原理を理解する。4.老人福祉の歴史的な展開を把握する。5.老人福祉の構造（対象、主体、方法）を理解する。6.老人福祉制度の概要（法制、行政機関、福祉サービス、施設、処遇）について理解する。7.老人保健について理解する。8.関連行政・諸サービス（民間シルバー・サービスをふくむ）について理解する。9.事例研究により理解を深める。教科書は初講の際に提示する。

#### リハビリテーション論

菊池恵美子

〔講義の目標と内容〕1.リハビリテーションの理念と基本原則、歴史的発展を理解する。2.障害の分類とその意味、必要な援助法を学ぶ。3.リハビリテーションに関わる専門職種の役割と機能を理解する。4.目標の設定とリハビリテーション計画について知る。5.社会的リハビリテーションの実際と社会資源について学ぶ。6.リハビリテーションの立場から介助の意味と方法を知る。なお介助の方法については実技も行なう。

#### 老人・障害者の心理

河合千恵子

〔講義の目標と内容〕1.老化や障害が本人に与える心理的影響について理解する。2.老年期の心理的特性を理解する。3.障害の心理的特徴を理解する。



4. 障害の原因・程度・種類別にみた心理的特性を理解する。5. 老年期や各種障害者の心理的特性が家族や周囲の者にもたらす影響について理解する。6. 老人や障害者の心理への対応（病院・福祉施設・機関・家族の対応、カウンセリングとケースワーク、リハビリテーション、レクリエーション）を理解する。7. 事例研究により理解を深める。

#### 家政学概論

北 郁子・佐藤美千子・山本良子

〔講義の目標と内容〕1. 家庭生活の社会的性格家庭機能の変容および家庭管理のあり方を理解させるとともに、家事、介護援助の社会的役割を考えさせる。2. 家庭の生活領域別に、管理の視点、基礎的な知識を学び、管理能力を養う。生活領域を、家庭生活の経営と管理、衣生活、食生活、住生活の4つの領域に分けて、それぞれの役割と機能、生活管理の具体的な内容、老人・障害者の生活などについて学ぶ。〈講義は生活領域別に実習と組み合わせて実施する〉

#### 家政学実習

北 郁子・佐藤美千子・山本良子

〔実習の目標〕1. 衣・食・住に関する技能を習得する。2. 老人や障害者の家庭生活に必要な実践的経営・管理能力を養う。

〔実習の内容〕生活領域別に、1. 家庭生活の経営管理(家事(介護)作業計画の作成) 2. 衣生活(被服管理、老人障害者向けの被服デザインや構成等) 3. 食生活(食事歴調査、献立作成と実習、食生活の指導法) 4. 住生活(室内環境整備、清掃技術、住居管理等)の4領域に分けて、講義と組み合わせて行なう。

#### 介護概論

関谷 栄子

〔目標〕高齢や疾病、障害によって自力では生活が維持できない状態にある人々の生命を維持向上をさせ、その生活を快適に営めるよう支援することを目的とする。そのため直接的な身体的、心理的、社会的ケアの理論と方法を学ぶ。〔内容〕介護の定義、変遷、社会的役割・介護の対象・介護の方法・介護技術の基本、生活行動援助、介護提供の場の介護課題・介護研究と専門性、介護倫理・介護法規。

#### 介護技術

関谷 栄子

〔目標〕介護の基本技術の原理を理解し、その具体的な方法を、講義・実習・演習によって習得する。

〔内容〕基本的な介護技術、生活行動援助技術(介護用具、自助具の使用を含む)介護過程・特殊場面の介護、医療看護対応時の協力、救急・事故時の介護、終末期介護、介護記録・活動の検討方法、活動の場での介護技術の適用とその展開。

#### 障害形態別介護技術

関谷栄子・木下安子・直居 鉄・貞廣邦彦

〔目標〕老人、視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由・内部障害等、各障害形態の特性に応じた介護の原理と具体的な介護方法・技術を、講義、実習、演習によって学ぶ。

〔内容〕老人、障害者の特性とその生活障害の理解、各特性に対応する介護課題・課題別介護方法の理解と技術の適用・各介護活動の場(施設、在宅等)での介護過程、保健・医療活動との連携、障害形態別事例検討。

#### 《実 習》

#### 実習指導

真保 雅子

360時間の介護実習を充実させ、介護福祉専門職としての能力と自覚を培うことを目標に、実習前には自己の課題の設定、施設の理解、実習中は理論と実際の統合、実習後には体験をフィードバックしながらの反省を行なう。

特に実際の介護過程を理論的な裏付を持って、具体的に実践できるように、後半は事例研究を中心に進めていく。

#### 介護実習

関谷 栄子・真保 雅子

〔目標〕福祉施設や在宅等の介護現場において対象者に接し、指導者の指導のもとに援助課題にしたがって介護の実際を学ぶ。その結果を評価、検討し、介護実践力を養う。

〔内容〕特別養護老人ホーム等でⅢ期に分け実習する。各期毎の実習課題を設け、段階別に総合的、包括的な援助を行う。

〔方法〕対象者の理解と介護課題を知る。各介護課題にしたがって介護技術を適用し結果を評価する。事例研究を行う。

## 《特 講》

### 介護福祉特講（老年医学）

大 倉 透

- I 総論 1. 老化（加齢）現象とは 2. 病気の分類 3. 老人病とは
- II 各論 1. 脳血管障害 2. 心疾患 3. ガン 4. 痴呆 5. 骨折と骨粗鬆症 6. 関節リウマチと関節疾患 7. 呼吸器疾患 8. 消化器疾患 9. 泌尿器疾患 10. その他
- III 死の判定
- IV 救急処置
- V 老人の在宅ケア・地域ケア
- VI 老人と栄養

### 介護福祉特講（レクリエーション・ワーク）

三 木 和 子

近年一般社会においては、労働時間の短縮による余暇時間の増大に伴い、レジャー・レクリエーションへの関心が高まって来ている。それとはやや趣を異にするが、社会福祉の分野においても、福祉サービス利用者の生活の質を高めるべく、レクリエーションへの期待が大きくなって来ている。レクリエーションをどのように捉えたら良いのか、又、レクリエーション・ワーカーの役割や活動について、理論、実技の両面から考えていきたい。

## 《修了研究演習》

### 修了研究演習

専 任 教 員

〔演習の目標と内容〕1. 学生が各自の介護福祉、老人福祉、障害福祉等に関する関心に基づいて研究課題を設定し、専任教員の指導のもとに個別または小グループで文献講読、資料の収集・分析、調査、観察、実験等の方法により研究をすすめる。研究の課題は特に実習と有機的に結びつけることによる学生の主体的な取り組みが期待される。なお、年度末には研究の成果を論文としてまとめ、さらに2月の修了研究発表会で口頭発表を行なうことになっている。

## 《社会福祉関係科目》

### 社会福祉制度政策論

都 留 民 子

わが国の国民生活の実態を分析した上で、それに対する政策と制度の進展と現状を学習していく。児童、障害者、高齢者等の対象別の社会福祉サービスや援助実践の保障に加えて、住宅、医療、所得保障の体系についても理解を深めるよう進めていきたい。

### 社会福祉制度政策論

樽 川 典 子

児童福祉、障害者福祉、老人福祉、公的扶助のあり方を左右する思想を考察する。具体的には、生存権思想、母性イデオロギー、自己決定権の思想と各種福祉制度・政策のしくみとの関係を検討し、福祉制度が逆機能を生じるシステム、処遇についてを分析する。授業では、毎回の個別課題とグループ討議を課する。

### 障害福祉論

尾 島 豊

障害者問題の特質とその背景、障害の概念、障害者福祉に関わる法律や制度の概要、思想としてのノーマライゼーションなどについて理解を深め、専門援助者として関わる上で基本的な考え方と知識を学習する。

### 家族福祉論

浅 井 春 夫

現代の家族はさまざまな生活障害を抱えており、その具体的な解決・援助策のひとつに家族福祉がある。現実の家族問題である高齢者や障害児・者の介護問題、児童養育問題、ひとり親家庭の問題、地域福祉のネットワークづくりなどを取りあげて、家族福祉のあり方と課題を考える。また在宅福祉のあり方を含めて家族福祉政策のあるべき方向についても考えていく。その際、ディベートなど学生参加の授業形態も採り入れていく。

### 社会福祉調査法

小 林 捷 哉

社会福祉調査とは、社会福祉を対象とする社会調査の一種であり、福祉ニーズの把握と分析、そのニーズの解決のために提供される各種の社会福祉サービスや実践活動の効果測定や分析を行うことを主たる目的としている。

本講では、社会福祉調査の理論と技法について講義より基礎的な理解を深めるとともに、演習として、調査課題の設定→調査票の作成→調査票の配票・回収→集計・分析（コンピュータ処理を含む）という一連の調査の過程を体験させる。

### 社会福祉援助方法論

尾 島 豊

社会福祉に固有な方法としてのソーシャルワーク実践の専門性（価値・知識・技術）を学ぶ。職業としての福祉援助の意味、援助関係の形成や援助展開を行う上で必要な専門的な基礎概念、生活を援助することの意味、他の援助活動の関連、援助活動の歴史などがテーマになる。

### 社会福祉特別演習

小林 捷 哉

この演習は「社会福祉実習」の事前・事後指導を組み入れつつ、受講生の社会福祉に関する関心、研究課題、実習で取り組みたい課題などを引き出しながらすすめていく。実習指導についてはオリエンテーション、実習内容の説明、実習テーマの設定、反省会などを行なう。このほかに社会福祉に関する理論的または実際的な問題について文献資料の講読、受講生各自の関心にもとづく調査研究報告と、それに関する討議、などをもとに演習をすすめる。

### 社会福祉実習

小林 捷 哉

この実習は「社会福祉主事任用資格」取得希望者を対象に福祉事務所や児童相談所などの社会福祉専門行政機関、老人ホームや精神薄弱者援護施設などの社会福祉施設（原則として児童福祉施設を除く）で行なう。実習ではケースワーク、グループワークなどの援助技術を学ぶとともに、機関・施設を理解し、被援助者の生活を知ることがめざす。配属実習は7月下旬から8月上旬にかけての12日間を標準として実施し、実習の事前・事後指導は「社会福祉特別演習」の時間に実施する。